

ユニフォーム業界のリサイクルに関する 実態調査

報告書

2024年3月29日

目次

I. 調査概要	1
1.調査目的.....	1
2.調査対象.....	1
3.調査方法.....	1
4.調査期間.....	1
5.回収結果.....	1
6.回答者の属性.....	2
II. 調査結果	3
調査結果まとめ.....	3
調査結果 各論.....	7
1-1. 不要ユニフォームの回収について.....	7
1-2. 年間当たりの回収量(着数/重量).....	9
1-3. 回収後の取組みについて.....	12
1-4. リサイクル方法について.....	13
1-5. リサイクル素材からの自社製品製造・販売について.....	15
1-6. ユニフォームの回収を実施していない理由について.....	16
2-1. 不要靴の回収について.....	18
2-2. 年間当たりの回収量(足数/重量).....	20
2-3. 回収した後の処理方法について.....	22
2-4. 靴の回収を実施していない理由について.....	23
3-1. リサイクルのコスト負担について.....	25
3-2. リサイクルのコスト負担先について.....	27
4-1. 広域認定制度の認定取得状況について.....	29
4-2. 広域認定の利用状況について.....	31
4-3. 広域認定の非利用の理由について.....	32
4-4. 広域認定の非取得の理由について.....	33
4-5. 国の法整備や業界のサポートの有無について.....	35
5-1. ユニフォーム製造に関わる CO2 排出状況について.....	37

5-2. 年間当たりの CO2 排出量について	39
5-3. ユニフォーム製造に関わる CO2 排出量削減について	40
5-4. CO2 排出量削減の評価における第三者認証の必要性について	42
6-1. 貴社商品に採用されている環境配慮型素材について	44
6-2. 貴社商品で行っている環境保護に関する取り組みについて	46
7. ユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動について	48
8. ユニフォームリサイクルの普及に必要と思われることについて	50
9. ユニフォームの産業廃棄物に対する認識	52
Ⅲ. 調査アンケート票	54

I. 調査概要

1. 調査目的

ユニフォーム事業者のユニフォームの回収、リサイクルの状況などを調査することで、ユニフォーム業界におけるリサイクルの現状と課題を把握することとする。

2. 調査対象

日本ユニフォームセンター、日本ユニフォーム協議会の加盟企業のリスト及び、矢野経済研究所提供リスト合計 1,693 件

業種内訳（商社、素材、アパレルメーカー、販売会社、付属資材、団体、リサイクル業者）

3. 調査方法

電話調査・郵送調査・郵送回収法

4. 調査期間

電話調査（193 件）：2024 年 2 月 1 日～2 月 19 日

郵送調査（1,500 件）：2024 年 2 月 5 日～2 月 29 日

5. 回収結果

全 153 件

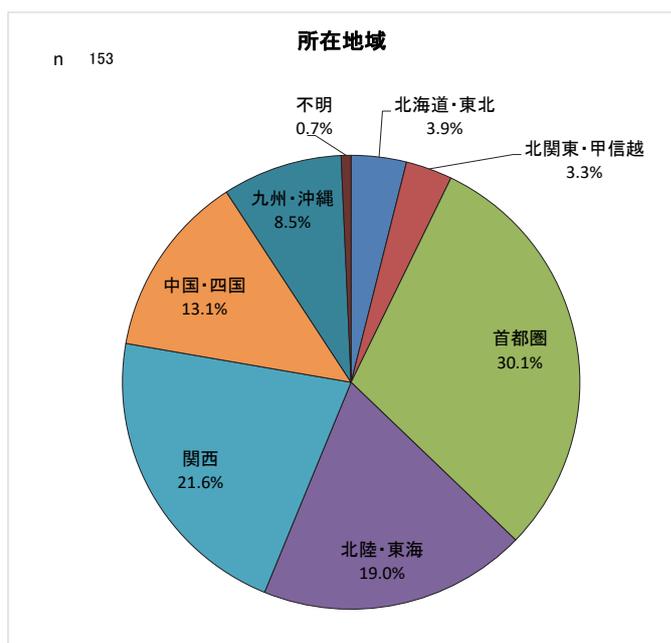
内訳 電話調査：193 件中 35 件 回収率 18.1%

郵送調査：1,500 件中 118 件 回収率 7.9%

調査数内訳（商社 14、素材 8、アパレルメーカー 26、販売会社 87、付属資材 2、リサイクル業者 2、その他・不明 14）

6. 回答者の属性

	調査数	所在地域								
		北海道・東北	北関東・甲信越	首都圏	北陸・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	不明	
全体	153 100.0	6 3.9	5 3.3	46 30.1	29 19.0	33 21.6	20 13.1	13 8.5	1 0.7	
業種別	商社	14 100.0	- -	- -	5 35.7	3 21.4	5 35.7	- -	1 7.1	- -
	素材	8 100.0	- -	- -	4 50.0	- -	4 50.0	- -	- -	- -
	アパレルメーカー	26 100.0	- -	1 3.8	8 30.8	3 11.5	4 15.4	9 34.6	- -	1 3.8
	付属資材	2 100.0	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
	販売会社	87 100.0	5 5.7	4 4.6	21 24.1	20 23.0	18 20.7	8 9.2	11 12.6	- -
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	14 100.0	- -	- -	5 35.7	3 21.4	2 14.3	3 21.4	1 7.1	- -
	従業員数別	50人以上	48 100.0	1 2.1	1 2.1	19 39.6	7 14.6	12 25.0	8 16.7	- -
10～49人		51 100.0	2 3.9	2 3.9	10 19.6	12 23.5	9 17.6	7 13.7	8 15.7	1 2.0
1～9人		48 100.0	3 6.3	2 4.2	15 31.3	7 14.6	12 25.0	4 8.3	5 10.4	- -
不明		6 100.0	- -	- -	2 33.3	3 50.0	- -	1 16.7	- -	- -
売上高別	30億円以上	33 100.0	- -	- -	13 39.4	5 15.2	10 30.3	5 15.2	- -	- -
	3～30億円未満	56 100.0	3 5.4	3 5.4	14 25.0	12 21.4	10 17.9	10 17.9	4 7.1	- -
	3億円未満	56 100.0	2 3.6	2 3.6	16 28.6	10 17.9	12 21.4	4 7.1	9 16.1	1 1.8
	不明	8 100.0	1 12.5	- -	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	- -	- -



II. 調査結果

調査結果まとめ

調査項目	結果概要
1-1. 不要ユニフォームの回収について	不要ユニフォームの回収を「していない」が約6割を占め高かった。
1-2. 年間当たりの回収量（着数／重量）	着数: 全体では「100～1,000枚未満」が25.4%と最も高い。平均では39.132枚。 重量: 全体では「1～10t未満」が15.9%と最も高い。平均では31.45t。
1-3. 回収後の取組みについて	全体では「リサイクル」が73.0%と最も高く、次いで「廃棄処分」が42.9%。
1-4. リサイクル方法について	全体では「マテリアルリサイクル」が63.0%と最も高く、次いで「ケミカルリサイクル(43.5%)」「サーマルリカバリー(34.8%)」の順となる。
1-5. リサイクル素材からの自社製品製造・販売について	「していない(62.9%)」が約6割を占め高かった。
1-6. ユニフォームの回収を実施していない理由について	全体では「回収後の処理方法がない」が32.2%と最も高く、次いで「回収に対する費用対効果が見込めない」が27.8%。
2-1. 不要靴の回収について	不要靴の回収を「していない」が91.5%と大半を占めた。
2-2. 年間当たりの回収量（足数／重量）	足数: 全体では「100足未満」が50.0%と最も高い。平均は60.56足。 重量: 全体では「100kg～1t未満」の回答が1件あり。
2-3. 回収した後の処理方法について	全体では「廃棄・焼却」が66.7%と最も高い。
2-4. 靴の回収を実施していない理由について	全体では「靴の製造を行っていない」が35.0%と最も高く、次いで「回収後の処理方法がない(32.1%)」「回収に対する費用対効果が見込めない(16.4%)」。
3-1. リサイクルのコスト負担について	全体では「自社」が45.6%と最も高く、次いで「ユーザー(着用者・着用企業)」が27.9%。
3-2. リサイクルのコスト負担先について	全体では「ユーザー(着用者・着用企業)」が53.6%と最も高く、次いで「アパレルメーカー(24.8%)」「リサイクル工程に関わる全事業者(19.0%)」。
4-1. 広域認定制度の認定取得状況について	全体では「取得していない」が約8割を占めた。
4-2. 広域認定の利用状況について	全体では「利用している」が約8割を占めた。
4-3. 広域認定の非利用の理由について	「回収の案件がない」の回答が1件あった。
4-4. 広域認定の非取得の理由について	全体では「制度の概要を把握していない」が39.2%と最も高く、次いで「取得するメリットを感じない」が38.3%と僅差となった。
4-5. 国の法整備や業界のサポートの有無について	全体では「行政の法整備が必要」が58.8%と最も高く、次いで「業界としてのサポートが必要」が41.8%。

調査項目	結果概要
5-1. ユニフォーム製造に関わるCO2排出状況について	全体では「CO2排出状況の算出を行っていない」が84.3%と最も高い。
5-2. 年間当たりのCO2排出量について	全体では「10～100t未満」が最も高い。平均では133.85t。
5-3. ユニフォーム製造に関わるCO2排出量削減について	全体では「特に何も行っていない」が44.4%と最も高い。次いで「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」が25.5%。
5-4. CO2排出量削減の評価における第三者認証の必要性について	全体では「よくわからない」が40.5%と最も高い。次いで「必要性を感じている」が28.1%。
6-1. 貴社商品に採用されている環境配慮型素材について	全体では「リサイクル素材」が68.0%と最も高い。次いで「バイオマス由来素材」が25.5%。
6-2. 貴社商品で行っている環境保護に関する取り組みについて	全体では「梱包の簡素化」が33.3%と最も高い。次いで「環境配慮型の素材を使用した製品開発(32.7%)」「梱包材や資材類へのリサイクル素材の使用(24.2%)」「修理・リペアサービスの展開(19.6%)」。
7. ユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動について	全体では「回収から再製品化までのリサイクルスキームを構築するべき」が51.6%と約半数の回答が得られた。
8. ユニフォームリサイクルの普及に必要と思われることについて	全体では「ユーザーの理解度向上」が58.8%と最も高い。次いで「利用しやすいリサイクルサービスの普及(46.4%)」「リサイクルにかかるコストの低減(35.9%)」。
9. ユニフォームの産業廃棄物に対する認識	全体では「もちろん知っていた」が57.5%と最も高い。「何となく知っていた(17.6%)」を合算すると75.1%となる。

以上、抜粋して結果をまとめたが、不要ユニフォームの回収については、全体では回収を「していない」（58.8%）が過半数を上回った。業種別では、「商社」「素材」「付属資材」「販売会社」は「回収をしていない」の方が高い。一方で、「アパレルメーカー」では回収を「している」「していない」が同等で、アパレルメーカーの回収については「回収している」数が一定数存在することが分かる。

また、不要ユニフォームの回収後の取り組みについて、全体では「リサイクル」が73.0%と最も高かった。次いで「廃棄処分」が42.9%となり、回収後にリサイクルするケースが多いが、廃棄処分する回答も一定数あることが分かる。

不要ユニフォームをリサイクルする方法では、全体では「マテリアルリサイクル」が63.0%と最も高い。業種別ではアパレルメーカーが「マテリアルリサイクル」の回答率9割を超えている。なお、販売会社は「マテリアルリサイクル（52.2%）」が最も高いが、「ケミカルリサイクル（39.1%）」「サーマルリカバリー（43.5%）」も一定数ある。

不要ユニフォームを回収しない理由については、全体では「回収後の処理方法がない」が32.2%と最も高く、次いで「回収に対する費用対効果が見込めない」が27.8%となった。回収後の処理方法を理解したり、費用対効果が見込めたりすることができれば、「回収する」という考えに至る可能性はあることが窺える。

次に、不要の靴を回収しているか聞いたところ、全体では「していない」が91.5%と大

半を占める結果となった。業種別でみると、販売会社の 11.5%が回収「している」と回答しており、他の業種に比べて回収率は高めである。また、靴の回収後の処理方法について、全体では「廃棄・焼却」が 66.7%と最も高かった。

リサイクルのコストについては、全体では「自社」が 45.6%と最も高く、次いで「ユーザー（着用者・着用企業）」が 27.9%となった。自社が負担するケースが高いが、ユーザーがコストを負担するケースも一定数存在することが分かる。

認定制度を取得していない理由については、全体では「制度の概要を把握していない」が 39.2%と最も高く、次いで「取得するメリットを感じない」が 38.3%と僅差となった。認定制度自体を把握していないうえ、そのメリットも感じないという回答が一定数あるということは、大きな課題である。

ユニフォーム製造に関わる CO2 削減の取り組みについては、全体では「特に何も行っていない」が 44.4%と最も高かった。次いで「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」が 25.5%となっている。

なお、「目標を掲げ取り組みを行っている」と「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」を合算すると全体では 28.8%となり、全体の約 3 割が CO2 削減の取り組みを行っていることが分かる。また、「取り組みを行っている」を合算した業種別では、素材で 62.5%、アパレルメーカーで 57.7%と半数以上の回答が得られた。一方、商社は「特に何も行っていない」が 50.0%となっており、素材やアパレルメーカーに比べて取り組み自体をあまり行っていないことが分かる。

CO2 排出量削減の評価における第三者認証の必要性について、全体では「よくわからない」が 40.5%と最も高かった。次いで「必要性を感じている」が 28.1%となっている。「必要性を感じていない」が 19.6%あるが、必要性を感じていると考えている方が高い。

「必要性を感じている」の回答について、業種別では、素材で 62.5%、アパレルメーカーで 34.6%と全体の回答に比べて高く、モノ作りをする側の意見として、CO2 排出量削減の必要性の高さを認識していることが窺える。

自社商品に対して行っている環境保護に関する取り組みについて、全体では「梱包の簡素化」が 33.3%と最も高い。次いで「環境配慮型の素材を使用した製品開発」が 32.7%、「梱包材や資材類へのリサイクル素材の使用」が 24.2%、「修理・リペアサービスの展開」が 19.6%となっている。

業種別では、素材とアパレルメーカーは「環境配慮型の素材を使用した製品開発」が最も高かった。

ユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動について、全体では「回収から再製品化までのリサイクルスキームを構築するべき」が 51.6%と約半数の回答が得られ

た。次いで「不要になったユニフォームの回収は行うべき」が 46.4%、「資源循環に対する理解度向上のための勉強会を積極的に実施するべき」が 28.1%となっている。業種別では、販売会社で「不要になったユニフォームの回収は行うべき」が 47.1%と最も高く、不要なユニフォームに対する回収の意識が高いことが窺える。

リサイクルの普及に必要なことを聞いたところ、全体では「ユーザーの理解度向上」が 58.8%と最も高い。次いで「利用しやすいリサイクルサービスの普及」が 46.4%、「リサイクルにかかるコストの低減」が 35.9%となる。リサイクルが普及するためにはユーザー側の理解が必要であると考えるのであれば、いかにユーザーに認知・理解をしてもらうかが重要となる。

「ユニフォームは産業廃棄物である」ということを認知しているかを聞いたところ、全体では「もちろん知っていた」が 57.5%と最も高かった。「何となく知っていた」の 17.6%を合算すると 75.1%となり、実に 8 割近い回答企業がユニフォームは産業廃棄物であるということを認知している。

その一方で、約 2 割が「(あまり/全然) 知らなかった」との回答があり、ユニフォームが産業廃棄物であるという認知度の向上が必要であることが分かる結果となった。

【考察】

今回調査対象としたユニフォーム関連企業の 6 割が不要ユニフォームの回収を行っていない結果となった。その代表的な理由は「回収後の処理方法がない」、「回収に対する費用対効果が見込めない」である。逆にいうと、回収後の処理方法があれば、回収が進む可能性がある。回収に対する費用対効果については、国や自治体など行政がコスト負担をする。これらのような背景は一般アパレルでも当てはまる。ただしユニフォームは産業廃棄物であり、都道府県をまたいで回収する場合は広域認定制度を取得する必要があり、この点は一般アパレルと異なる。

繊維製品に対し経産省、環境省らが業界企業、消費者にリユース、リサイクルを行うよう、呼びかけている。環境省は廃棄される衣類の量が多い現実に対し、衣類は資源であり、廃棄しないような啓蒙、リユース、リサイクルの取組みを推奨し、経産省は今年 3 月、繊維製品の環境配慮設計のガイドライン案を提示し、リサイクルなどの評価基準を公表している。

環境配慮設計のガイドラインにはリサイクルしやすい易リサイクル設計、再生資源をしようしているかといった繊維製品のリサイクルが設定されている。

このように繊維製品のサステナビリティの潮流にあって、ユニフォームも例外ではなく、企画の段階からリサイクルを見据えた製品製造が求められるようになる。

ユニフォームの資源循環を進めるにあたって、広く回収を行うための課題、例えば広域認定制度の緩和など、国でなければ対応できないため、官民一体的に進めていく必要がある。

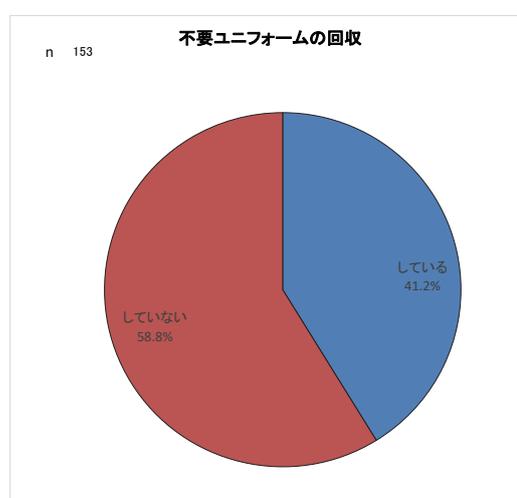
調査結果 各論

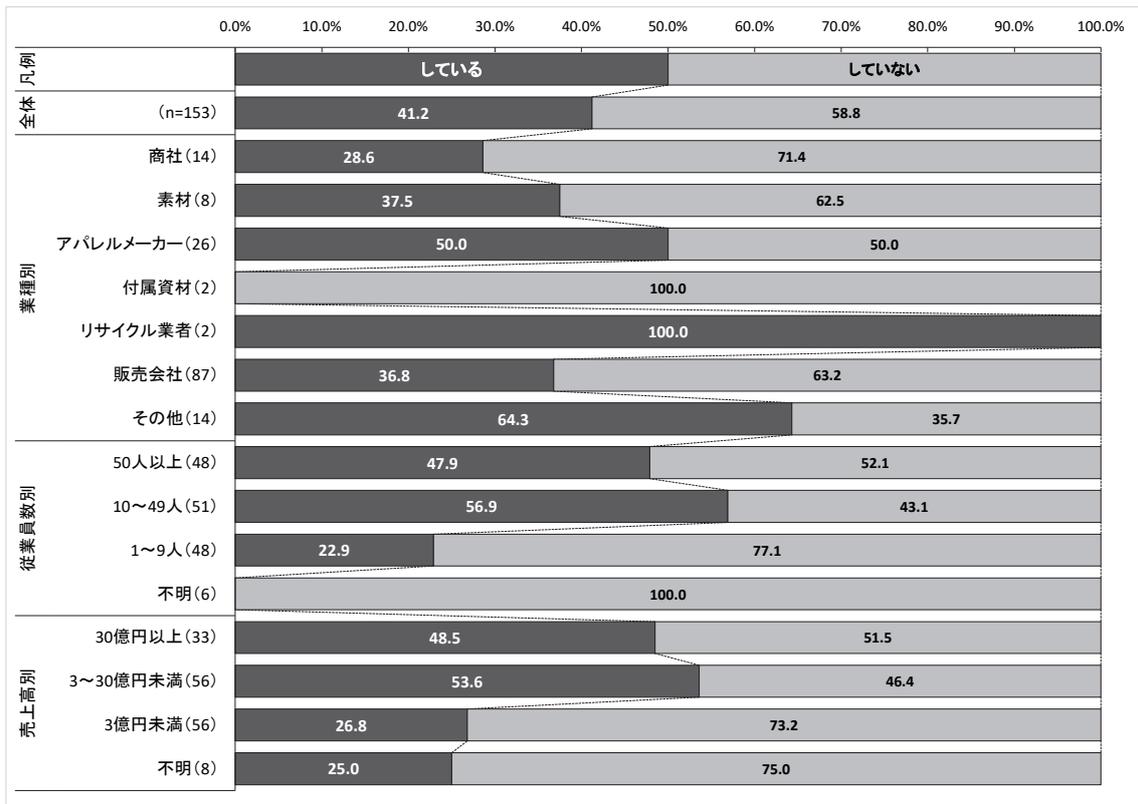
1-1. 不要ユニフォームの回収について

(1-1.貴社では不要になったユニフォームの回収をしていますか。※ただし自社内で着用するユニフォームを除く)

- ・全体では不要ユニフォームの回収を「していない(58.8%)」の方が高かった。
- ・業種別でみると、回答数に差があるものの「商社」「素材」「付属資材」「販売会社」は「回収をしない」の方が高く、「アパレルメーカー」は回収を「している」「していない」が同等となった。

		調査数	不要ユニフォームの回収	
			している	していない
全体		153	63	90
		100.0	41.2	58.8
業種別	商社	14	4	10
		100.0	28.6	71.4
	素材	8	3	5
		100.0	37.5	62.5
	アパレルメーカー	26	13	13
		100.0	50.0	50.0
	付属資材	2	-	2
		100.0	-	100.0
	リサイクル業者	2	2	-
		100.0	100.0	-
販売会社	87	32	55	
	100.0	36.8	63.2	
団体	-	-	-	
	-	-	-	
その他	14	9	5	
	100.0	64.3	35.7	
従業員数別	50人以上	48	23	25
		100.0	47.9	52.1
	10~49人	51	29	22
		100.0	56.9	43.1
1~9人	48	11	37	
	100.0	22.9	77.1	
不明	6	-	6	
	100.0	-	100.0	
売上高別	30億円以上	33	16	17
		100.0	48.5	51.5
	3~30億円未満	56	30	26
		100.0	53.6	46.4
3億円未満	56	15	41	
	100.0	26.8	73.2	
不明	8	2	6	
	100.0	25.0	75.0	





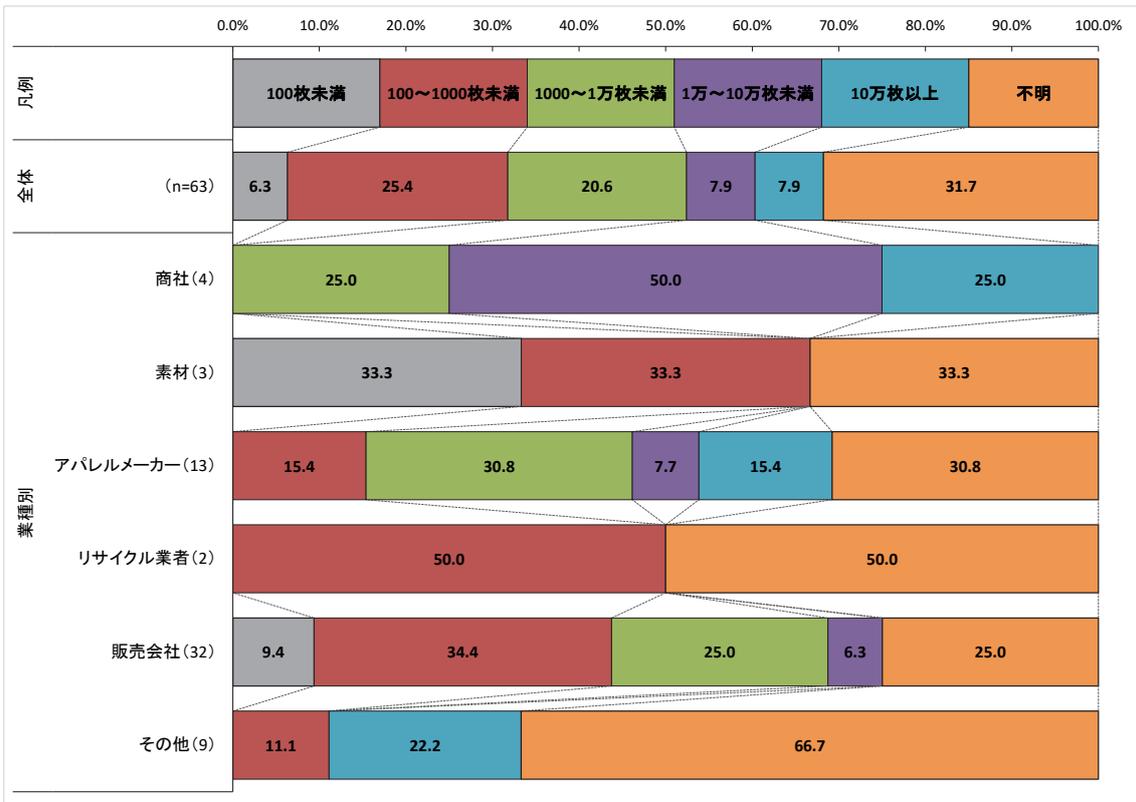
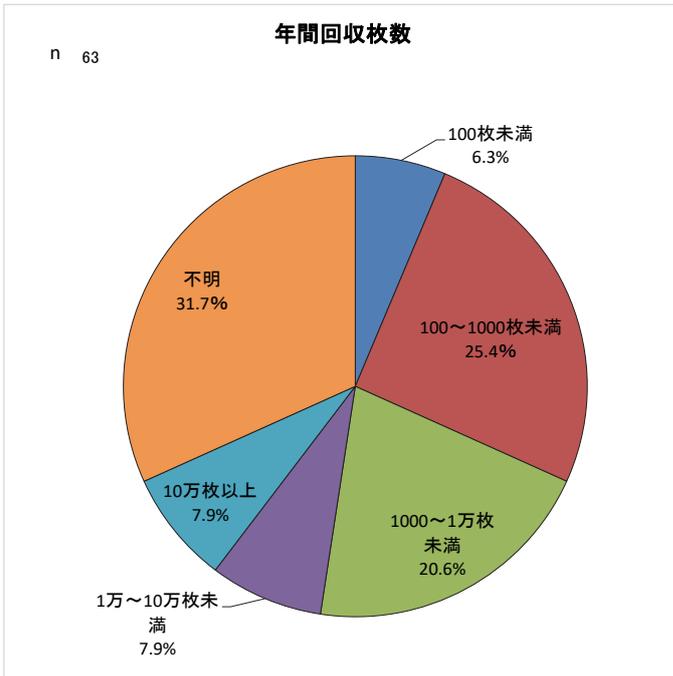
1-2.年間当たりの回収量(着数/重量)

(1-2. 1-1 で「はい」と回答した方にお聞きます。年間当たり、どのくらいの回収量ですか。着数が枚数でお答えください。)

・年間回収枚数では、全体でみると「100～1000 枚未満」が 25.4%と最も高い。平均で見ると39.132 枚となっている。

<年間回収枚数>

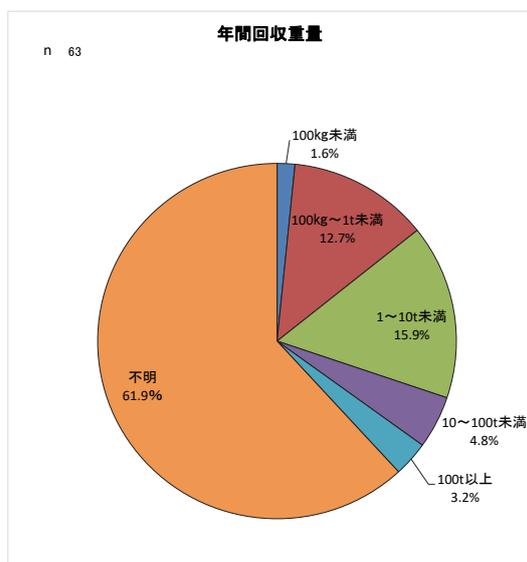
	調査数	年間回収枚数						平均(枚)	
		100枚未満	100～1000枚未満	1000～1万枚未満	1万～10万枚未満	10万枚以上	不明		
全体	63 100.0	4 6.3	16 25.4	13 20.6	5 7.9	5 7.9	20 31.7	39,132	
業 種 別	商社	4 100.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	1 25.0	- -	138,401
	素材	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- 33.3	1 51	
	アパレルメーカー	13 100.0	- -	2 15.4	4 30.8	1 7.7	2 15.4	4 30.8	92,800
	付属資材	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	リサイクル業者	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	500
	販売会社	32 100.0	3 9.4	11 34.4	8 25.0	2 6.3	- -	8 25.0	2,416
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	9 100.0	- -	1 11.1	- -	- -	2 22.2	6 66.7	78,433
従 業 員 数 別	50人以上	23 100.0	- -	2 8.7	4 17.4	3 13.0	5 21.7	9 39.1	114,736
	10～49人	29 100.0	2 6.9	11 37.9	6 20.7	2 6.9	- -	8 27.6	3,317
	1～9人	11 100.0	2 18.2	3 27.3	3 27.3	- -	- -	3 27.3	843
	不明	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
売 上 高 別	30億円以上	16 100.0	- -	2 12.5	1 6.3	2 12.5	5 31.3	6 37.5	158,660
	3～30億円未満	30 100.0	2 6.7	9 30.0	6 20.0	2 6.7	- -	11 36.7	3,942
	3億円未満	15 100.0	2 13.3	5 33.3	5 33.3	- -	- -	3 20.0	766
	不明	2 100.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	6,000



・年間回収重量では、全体でみると「1～10t 未満」が 15.9%と最も高い。平均では 31.45t となっている。

<年間回収重量>

	調査数	年間回収重量						平均(t)	
		100kg未 満	100kg～ 1t未満	1～10t 未満	10～ 100t未 満	100t以 上	不明		
全体	63	1	8	10	3	2	39	31.45	
	100.0	1.6	12.7	15.9	4.8	3.2	61.9		
業 種 別	商社	4	-	-	2	-	-	2	5.7
		100.0	-	-	50.0	-	-	50.0	
	素材	3	-	1	-	-	-	2	0.5
		100.0	-	33.3	-	-	-	66.7	
	アパレルメーカー	13	-	4	1	-	1	7	43.8
		100.0	-	30.8	7.7	-	7.7	53.8	
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	2	-	-	-	1	-	1	48.5
		100.0	-	-	-	50.0	-	50.0	
販売会社	32	1	3	5	-	1	22	37.38	
	100.0	3.1	9.4	15.6	-	3.1	68.8		
団体	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	9	-	-	2	2	-	5	14.45	
	100.0	-	-	22.2	22.2	-	55.6		
従 業 員 数 別	50人以上	23	-	3	4	3	2	11	60.7
		100.0	-	13.0	17.4	13.0	8.7	47.8	
	10～49人	29	1	3	5	-	-	20	2.8
		100.0	3.4	10.3	17.2	-	-	69.0	
1～9人	11	-	2	1	-	-	8	0.4	
	100.0	-	18.2	9.1	-	-	72.7		
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	
売 上 高 別	30億円以上	16	-	2	2	1	2	9	95.57
		100.0	-	12.5	12.5	6.3	12.5	56.3	
	3～30億円未満	30	1	3	5	2	-	19	7.22
		100.0	3.3	10.0	16.7	6.7	-	63.3	
3億円未満	15	-	3	2	-	-	10	0.47	
	100.0	-	20.0	13.3	-	-	66.7		
不明	2	-	-	1	-	-	1	4	
	100.0	-	-	50.0	-	-	50.0		

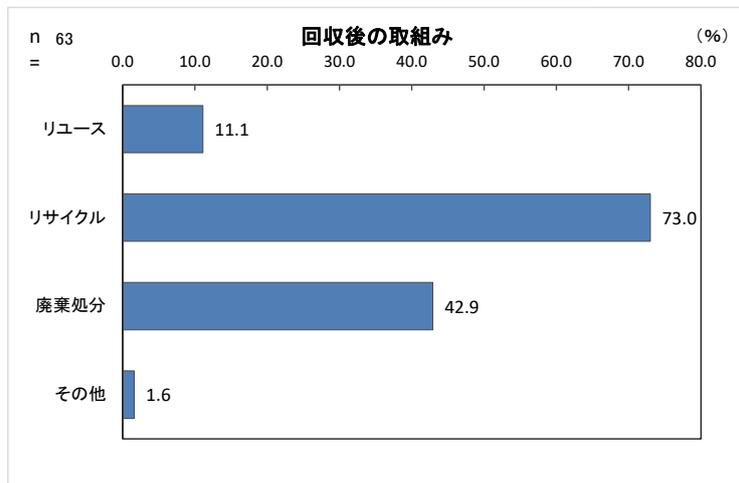


1-3.回収後の取組みについて

(1-3. 1-1 で「はい」と回答した方にお聞きします。回収後の取組みについて教えてください。※複数回答可)

- ・回収後の取組みについて全体では「リサイクル」が 73.0%と最も高く、次いで「廃棄処分」が42.9%となっている。回収後にリサイクルするケースが多いが、廃棄処分も一定数有している。
- ・なお、FA では「回収を希望する企業があれば回収する」という回答があった。

	調査数	回収後の取組み				
		リユース	リサイクル	廃棄処分	その他	
全体	63 100.0	7 11.1	46 73.0	27 42.9	1 1.6	
業 種 別	商社	4 100.0	1 25.0	4 100.0	1 25.0	-
	素材	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-
	アパレルメーカー	13 100.0	-	11 84.6	4 30.8	-
	付属資材	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-
	販売会社	32 100.0	4 12.5	23 71.9	16 50.0	1 3.1
	団体	-	-	-	-	-
	その他	9 100.0	2 22.2	5 55.6	4 44.4	-
	従 業 員 数 別	50人以上	23 100.0	4 17.4	19 82.6	7 30.4
10~49人		29 100.0	3 10.3	20 69.0	15 51.7	1 3.4
1~9人		11 100.0	-	7 63.6	5 45.5	-
不明		-	-	-	-	-
売 上 高 別	30億円以上	16 100.0	4 25.0	12 75.0	6 37.5	-
	3~30億円未満	30 100.0	3 10.0	23 76.7	13 43.3	1 3.3
	3億円未満	15 100.0	-	9 60.0	8 53.3	-
	不明	2 100.0	-	2 100.0	-	-



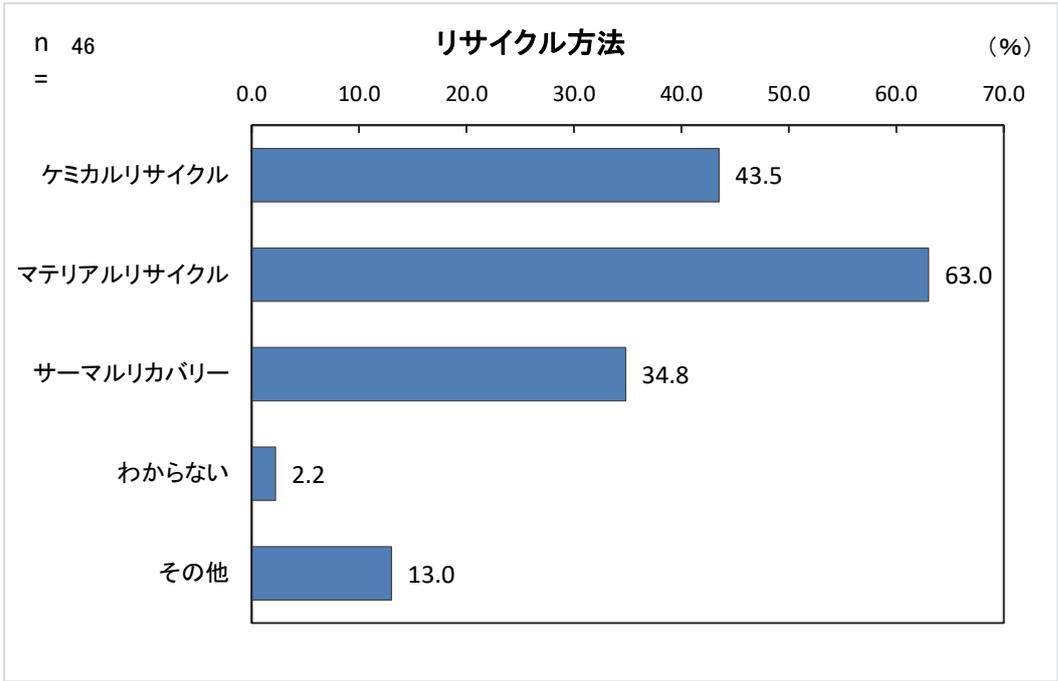
1-4.リサイクル方法について

(1-4. 1-3で「リサイクルを行う」と回答した方にお聞きします。該当するものを教えてください。※複数回答可)

・リサイクルする方法を聞いたところ、全体では「マテリアルリサイクル」が 63.0%と最も高かった。業種別でみると「アパレルメーカー」ではマテリアルリサイクルの回答率が9割を超えている。

・なお、FA では「反毛する」「ウエスとして使用する」「再利用する」「ウエスの加工業者に回収してもらっている」「修理して再利用(リサイクル品として販売)」という回答もあった。

	調査数	リサイクル方法					
		ケミカルリサイクル	マテリアルリサイクル	サーマルリカバリー	わからない	その他	
全体	46 100.0	20 43.5	29 63.0	16 34.8	1 2.2	6 13.0	
業種別	商社	4 100.0	2 50.0	3 75.0	1 25.0	- -	- -
	素材	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	アパレルメーカー	11 100.0	5 45.5	10 90.9	4 36.4	- -	- -
	付属資材	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	リサイクル業者	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	販売会社	23 100.0	9 39.1	12 52.2	10 43.5	1 4.3	4 17.4
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	5 100.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	- -	2 40.0
	従業員数別	50人以上	19 100.0	11 57.9	16 84.2	4 21.1	- -
10～49人		20 100.0	7 35.0	9 45.0	9 45.0	1 5.0	5 25.0
1～9人		7 100.0	2 28.6	4 57.1	3 42.9	- -	- -
不明		- -	- -	- -	- -	- -	- -
売上高別	30億円以上	12 100.0	10 83.3	11 91.7	3 25.0	- -	- -
	3～30億円未満	23 100.0	8 34.8	13 56.5	8 34.8	1 4.3	4 17.4
	3億円未満	9 100.0	2 22.2	3 33.3	5 55.6	- -	2 22.2
	不明	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -

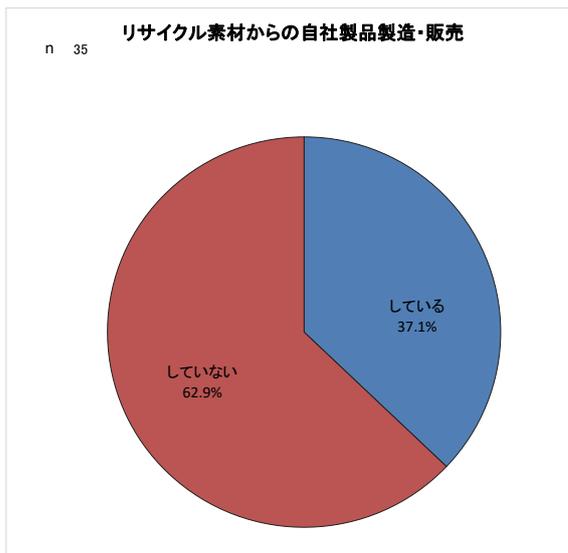


1-5.リサイクル素材からの自社製品製造・販売について

(1-5. 1-4 で「ケミカルリサイクル」「マテリアルリサイクル」と回答した方にお聞きします。ケミカルリサイクルあるいはマテリアルリサイクルをした素材から再び自社製品を製造・販売していますか。)

・リサイクル素材からの自社製品の製造・販売をしているか聞いたところ、全体では「していない」が62.9%、「している」が37.1%となった。回答サンプルが少ないため、あくまで参考程度となるが従業員規模でみると従業員の数が多いほど、自社製品の製造・販売をする傾向が高いようだ。

		調査数	リサイクル素材からの 自社製品製造・販売	
			している	していない
全体		35	13	22
		100.0	37.1	62.9
業 種 別	商社	4	2	2
		100.0	50.0	50.0
	素材	2	1	1
		100.0	50.0	50.0
	アパレルメーカー	10	4	6
		100.0	40.0	60.0
	付属資材	-	-	-
		-	-	-
	リサイクル業者	1	1	-
	100.0	100.0	-	
販売会社	15	4	11	
	100.0	26.7	73.3	
団体	-	-	-	
	-	-	-	
その他	3	1	2	
	100.0	33.3	66.7	
従 業 員 数 別	50人以上	17	9	8
		100.0	52.9	47.1
	10～49人	13	3	10
		100.0	23.1	76.9
1～9人	5	1	4	
	100.0	20.0	80.0	
不明	-	-	-	
	-	-	-	
売 上 高 別	30億円以上	12	7	5
		100.0	58.3	41.7
	3～30億円未満	17	5	12
		100.0	29.4	70.6
3億円未満	4	1	3	
	100.0	25.0	75.0	
不明	2	-	2	
	100.0	-	100.0	



1-6.ユニフォームの回収を実施していない理由について

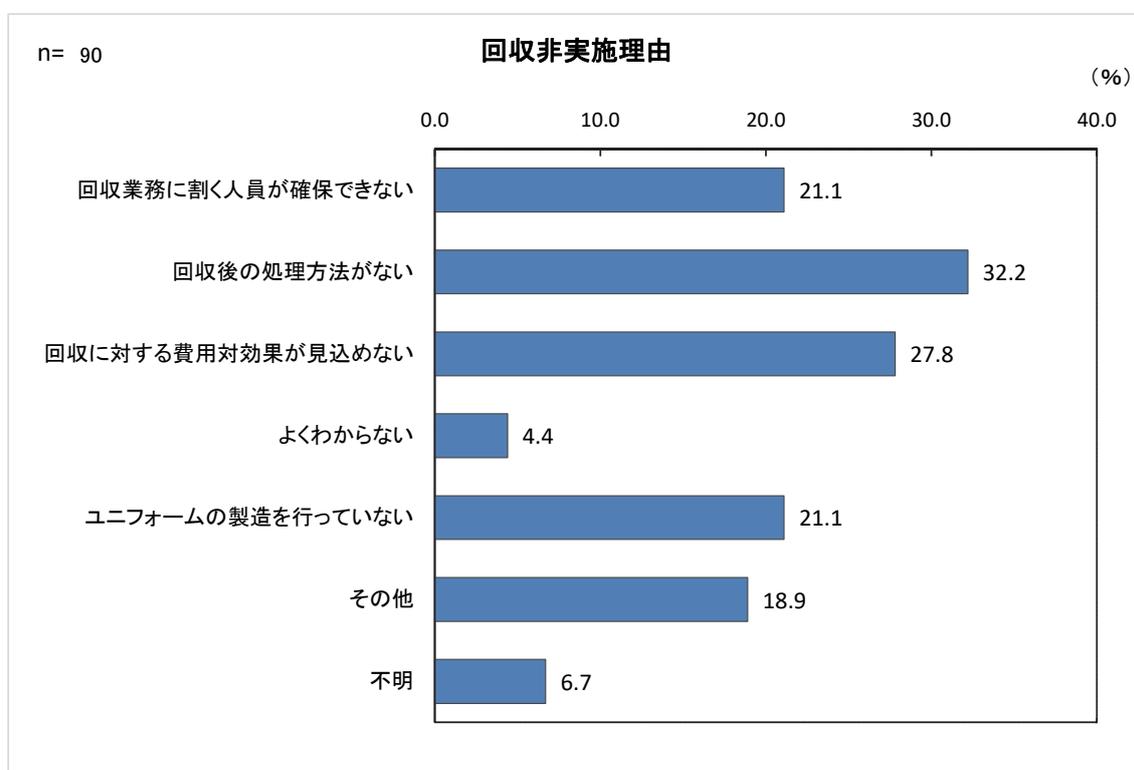
(1-6. 1-1 で「いいえ」と回答した方にお聞きします。回収を実施していない理由を教えてください。

※複数回答可)

・回収を実施していない理由について、全体では「回収後の処理方法がない」が32.2%と最も高く、次いで「回収に対する費用対効果が見込めない」が27.8%となった。回収後の処理方法や費用対効果が見込めれば、回収するという考えに至る可能性は高いことが窺える。

	調査数	回収非実施理由							
		回収業務に割く人員が確保できない	回収後の処理方法がない	回収に対する費用対効果が見込めない	よくわからない	ユニフォームの製造を行っていない	その他	不明	
全体	90 100.0	19 21.1	29 32.2	25 27.8	4 4.4	19 21.1	17 18.9	6 6.7	
業 種 別	商社	10 100.0	1 10.0	5 50.0	3 30.0	- -	2 20.0	2 20.0	- -
	素材	5 100.0	- -	1 20.0	- -	- -	2 40.0	2 40.0	- -
	アパレルメーカー	13 100.0	4 30.8	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7	3 23.1	2 15.4
	付属資材	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -
	リサイクル業者	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	販売会社	55 100.0	13 23.6	18 32.7	16 29.1	1 1.8	11 20.0	9 16.4	4 7.3
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	4 100.0	- -	- -	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -
	従 業 員 数 別	50人以上	25 100.0	5 20.0	7 28.0	4 16.0	1 4.0	5 20.0	8 32.0
10~49人		22 100.0	4 18.2	10 45.5	8 36.4	1 4.5	5 22.7	4 18.2	- -
1~9人		37 100.0	9 24.3	10 27.0	12 32.4	- -	8 21.6	5 13.5	3 8.1
不明		6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	- -	1 16.7
売 上 高 別	30億円以上	17 100.0	4 23.5	5 29.4	4 23.5	- -	3 17.6	5 29.4	2 11.8
	3~30億円未満	26 100.0	5 19.2	10 38.5	6 23.1	2 7.7	6 23.1	6 23.1	- -
	3億円未満	41 100.0	8 19.5	12 29.3	13 31.7	1 2.4	9 22.0	6 14.6	3 7.3
	不明	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	- -	1 16.7

・なお、FA では「回収の要望がない」「代理店として一社納品しているが、回収の案内をしていない」「お客様より要望がない」「現在検討中。以前(10年以上前)はマテリアルリサイクルを行っていた」「回収をユーザーに話していない」「顧客の要望に応じて回収」「クライアントから回収依頼がない」「グループ会社にて運用、レンタル、管理を行っており、回収はグループ会社の事業として行っている」「地域の学校やPTAが各々行っている」「取引先企業が回収をしている」「客先の販売店で回収をしている」「ユニフォーム納入ユーザーからリサイクルを求められない」「ユニフォームメーカー回収が複雑(産廃扱いのため)」「法律上、販売店が排出事業所になれないことから回収することができない」「現状、ユニフォーム用生地販売のみ」「現状は製造のみで、回収のプラットフォームを有していない」という回答があった。

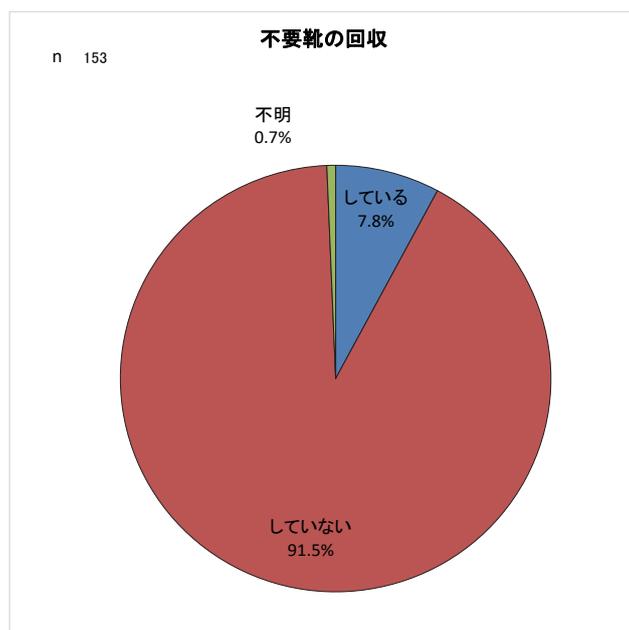


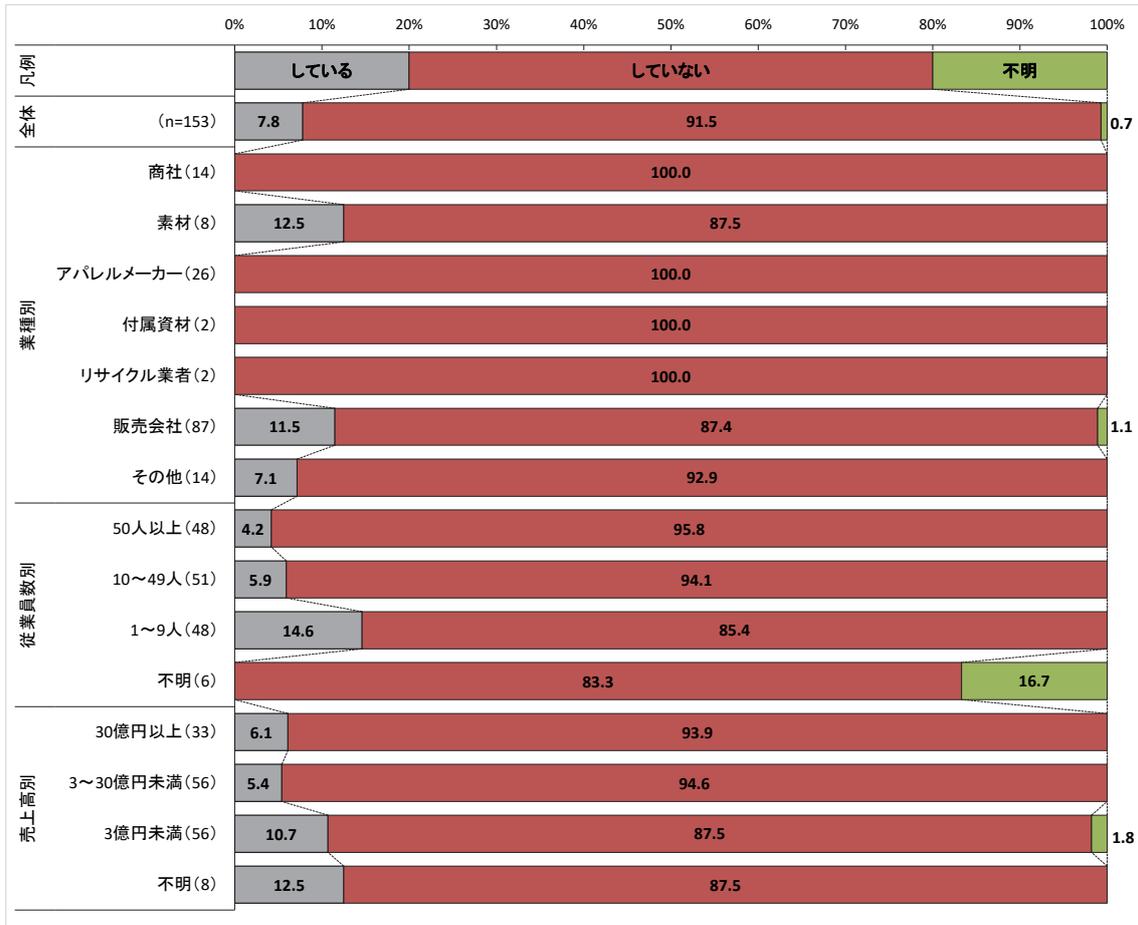
2-1.不要靴の回収について

(2-1. 貴社では不要になった靴の回収をしていますか。)

・不要の靴を回収しているか聞いたところ、全体では「していない」が 91.5%と大半を占める結果となった。業種別で見ると、販売会社の 11.5%が回収「している」と回答しており、他の業種に比べて回収率は高めである。

	調査数	不要靴の回収				
		している	していない	不明		
全体	153 100.0	12 7.8	140 91.5	1 0.7		
業 種 別	商社	14 100.0	- -	14 100.0	- -	
	素材	8 100.0	1 12.5	7 87.5	- -	
	アパレルメーカー	26 100.0	- -	26 100.0	- -	
	付属資材	2 100.0	- -	2 100.0	- -	
	リサイクル業者	2 100.0	- -	2 100.0	- -	
	販売会社	87 100.0	10 11.5	76 87.4	1 1.1	
	団体	- -	- -	- -	- -	
	その他	14 100.0	1 7.1	13 92.9	- -	
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	2 4.2	46 95.8	- -
		10~49人	51 100.0	3 5.9	48 94.1	- -
1~9人		48 100.0	7 14.6	41 85.4	- -	
不明		6 100.0	- -	5 83.3	1 16.7	
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	2 6.1	31 93.9	- -	
	3~30億円未満	56 100.0	3 5.4	53 94.6	- -	
	3億円未満	56 100.0	6 10.7	49 87.5	1 1.8	
	不明	8 100.0	1 12.5	7 87.5	- -	





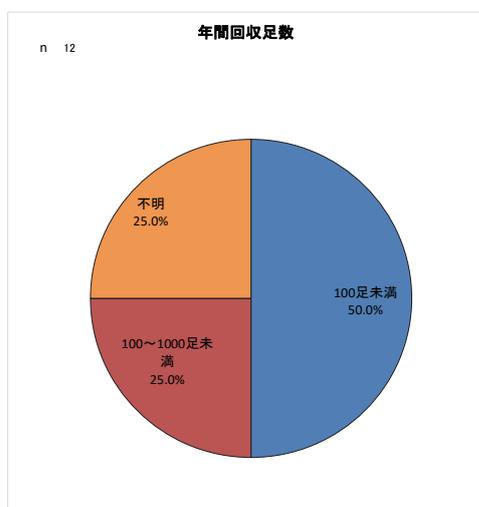
2-2.年間当たりの回収量(足数/重量)

(2-2. 2-1 で「はい」と回答した方にお聞きします。年間当たりどのくらいの回収量ですか。足数か重量でお答えください。)

- ・年間回収足数をみると、全体では「100 足未満」が 50.0%と最も高い。平均は 60.56 足となった。
- ・年間回収重量では、全体では「100kg～1t 未満」の回答が 1 件だが得られた。

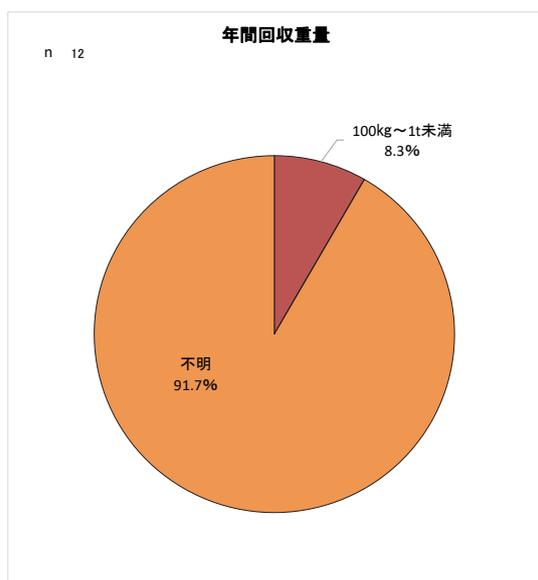
<年間回収足数>

	調査数	年間回収足数						平均(足)
		100足未満	100～1000足未満	1000～1万足未満	1万～10万足未満	10万足以上	不明	
全体	12 100.0	6 50.0	3 25.0	-	-	-	3 25.0	60.56
業種別	商社	-	-	-	-	-	-	-
	素材	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	アパレルメーカー	-	-	-	-	-	-	-
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-	-	-	-	-
	販売会社	10 100.0	6 60.0	3 30.0	-	-	1 10.0	60.56
	団体	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
従業員数別	50人以上	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-
	10～49人	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-	-	73.33
	1～9人	7 100.0	5 71.4	1 14.3	-	-	1 14.3	54.17
	不明	-	-	-	-	-	-	-
売上高別	30億円以上	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-
	3～30億円未満	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	-	1 33.3	60
	3億円未満	6 100.0	5 83.3	1 16.7	-	-	-	37.5
	不明	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	200



<年間回収重量>

	調査数	年間回収重量						平均(t)
		100kg未 満	100kg～ 1t未満	1～10t未 満	10～100t 未満	100t以上	不明	
全体	12 100.0	-	1 8.3	-	-	-	11 91.7	0.15
業 種 別	商社	-	-	-	-	-	-	-
	素材	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	アパレルメーカー	-	-	-	-	-	-	-
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-	-	-	-	-
	販売会社	10 100.0	-	1 10.0	-	-	9 90.0	0.15
	団体	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
従 業 員 数 別	50人以上	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-
	10～49人	3 100.0	-	-	-	-	3 100.0	-
	1～9人	7 100.0	-	1 14.3	-	-	6 85.7	0.15
	不明	-	-	-	-	-	-	-
売 上 高 別	30億円以上	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-
	3～30億円未満	3 100.0	-	-	-	-	3 100.0	-
	3億円未満	6 100.0	-	-	-	-	6 100.0	-
	不明	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	0.15

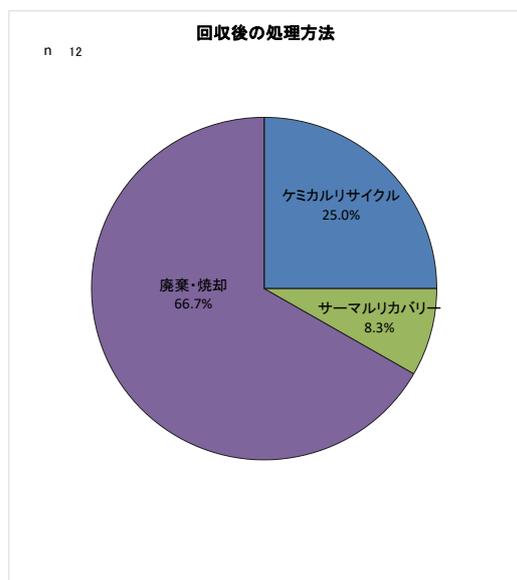


2-3.回収した後の処理方法について

(2-3. 2-1 で「はい」と回答した方にお聞きします。回収した後の処理方法を教えてください。※複数回答可)

・回収後の靴の処理方法について、全体では「廃棄・焼却」が66.7%と最も高かった。

	調査数	回収後の処理方法					
		ケミカルリサイクル	マテリアルリサイクル	サーマルリカバリー	廃棄・焼却	わからない	その他
全体	12 100.0	3 25.0	-	1 8.3	8 66.7	-	-
業種別	商社	-	-	-	-	-	-
	素材	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	アパレルメーカー	-	-	-	-	-	-
	付属資材	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-	-	-	-
	販売会社	10 100.0	1 10.0	-	1 10.0	8 80.0	-
	団体	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
従業員数別	50人以上	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	10~49人	3 100.0	-	-	3 100.0	-	-
	1~9人	7 100.0	1 14.3	-	1 14.3	5 71.4	-
	不明	-	-	-	-	-	-
売上高別	30億円以上	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	3~30億円未満	3 100.0	1 33.3	-	-	2 66.7	-
	3億円未満	6 100.0	-	-	-	6 100.0	-
	不明	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-



2-4.靴の回収を実施していない理由について

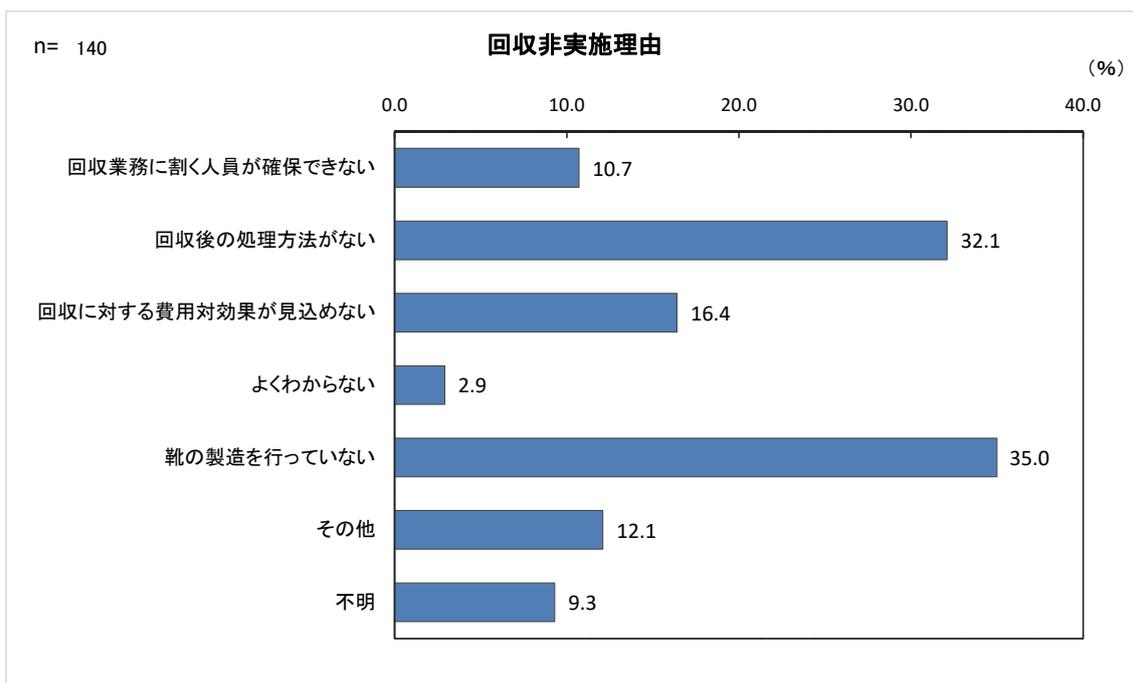
(2-4. 2-1 で「いいえ」と回答した方にお聞きします。回収を実施していない理由を教えてください。

※複数回答可)

・回収を実施しない理由について、全体では「靴の製造を行っていない」が 35.0%と最も高く、次いで「回収後の処理方法がない」が 32.1%、「回収に対する費用対効果が見込めない」が 16.4%となった。

	調査数	回収非実施理由							
		回収業務に割く人員が確保できない	回収後の処理方法がない	回収に対する費用対効果が見込めない	よくわからない	靴の製造を行っていない	その他	不明	
全体	140 100.0	15 10.7	45 32.1	23 16.4	4 2.9	49 35.0	17 12.1	13 9.3	
業 種 別	商社	14 100.0	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	6 42.9	3 21.4	1 7.1
	素材	7 100.0	-	2 28.6	-	1 14.3	3 42.9	1 14.3	-
	アパレルメーカー	26 100.0	3 11.5	5 19.2	3 11.5	-	14 53.8	1 3.8	4 15.4
	付属資材	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	-
	販売会社	76 100.0	11 14.5	33 43.4	16 21.1	1 1.3	18 23.7	10 13.2	6 7.9
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	12 100.0	-	1 8.3	1 8.3	1 8.3	6 50.0	2 16.7	1 8.3
従 業 員 数 別	50人以上	46 100.0	5 10.9	9 19.6	5 10.9	1 2.2	23 50.0	5 10.9	2 4.3
	10~49人	48 100.0	3 6.3	22 45.8	7 14.6	-	15 31.3	6 12.5	5 10.4
	1~9人	41 100.0	7 17.1	14 34.1	11 26.8	-	10 24.4	5 12.2	5 12.2
	不明	5 100.0	-	-	-	3 60.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
売 上 高 別	30億円以上	31 100.0	4 12.9	4 12.9	3 9.7	1 3.2	15 48.4	4 12.9	2 6.5
	3~30億円未満	53 100.0	4 7.5	22 41.5	8 15.1	-	20 37.7	4 7.5	5 9.4
	3億円未満	49 100.0	6 12.2	18 36.7	11 22.4	1 2.0	12 24.5	8 16.3	4 8.2
	不明	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	2 28.6

・なお、FA では「回収の要望がない」「リサイクル方法がない」「代理店として販売実績がないため」「ユーザーからの要望がない」「社内用は購入していない」「販売しても極めて少ない」「回収をユーザーに話していない」「回収の仕組みがない」「製造も回収も行っていない」「靴の販売数が少ない」「ユニフォームメーカー回収が複雑(産廃扱いのため)」「靴の販売がほとんどない」「回収依頼がない」「法律上、販売店が排出事業所になれないことから回収することができない」「現状、ユニフォーム用生地販売のみのため」「依頼が今のところない」という回答もあった。



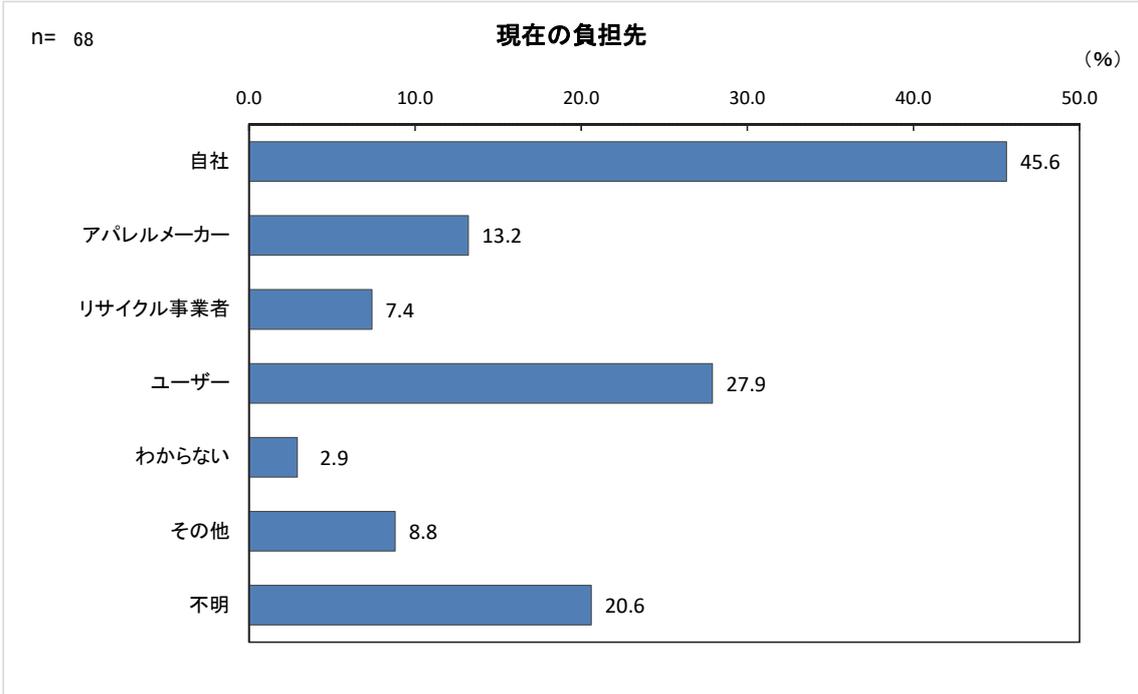
3-1.リサイクルのコスト負担について

(3-1. 1-1or 2-1 で「はい」と回答した方にお聞きます。現在、リサイクルのコストはどこが負担していますか。※複数回答可)

・リサイクルコストについて、全体では「自社」が 45.6%と最も高く、次いで「ユーザー(着用者・着用企業)」が 27.9%となった。自社が負担するケースが高いが、ユーザーがコストを負担するケースも一定数存在する。

・なお、FA では「運賃は当社が負担している」「公益社団法人環境生活文化機構のケミカルリサイクル事業の中で運用している」「自治体が負担している」という回答もあった。

	調査数	現在の負担先							
		自社	アパレルメーカー	リサイクル事業者	ユーザー	わからない	その他	不明	
全体	68 100.0	31 45.6	9 13.2	5 7.4	19 27.9	2 2.9	6 8.8	14 20.6	
業 種 別	商社	4 100.0	1 25.0	-	-	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0
	素材	3 100.0	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	-	1 33.3
	アパレルメーカー	13 100.0	7 53.8	-	2 15.4	3 23.1	-	-	3 23.1
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	販売会社	37 100.0	16 43.2	8 21.6	2 5.4	11 29.7	2 5.4	3 8.1	7 18.9
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	9 100.0	5 55.6	-	-	1 11.1	-	2 22.2	2 22.2
	従 業 員 数 別	50人以上	23 100.0	11 47.8	2 8.7	3 13.0	6 26.1	-	2 8.7
10~49人		29 100.0	13 44.8	5 17.2	2 6.9	11 37.9	2 6.9	2 6.9	4 13.8
1~9人		16 100.0	7 43.8	2 12.5	-	2 12.5	-	2 12.5	5 31.3
不明		-	-	-	-	-	-	-	-
売 上 高 別	30億円以上	16 100.0	9 56.3	1 6.3	2 12.5	3 18.8	-	1 6.3	3 18.8
	3~30億円未満	30 100.0	12 40.0	6 20.0	2 6.7	12 40.0	1 3.3	2 6.7	5 16.7
	3億円未満	20 100.0	10 50.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	3 15.0	6 30.0
	不明	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-



3-2.リサイクルのコスト負担先について

(3-2. 将来的に、リサイクルのコストはどこが負担するべきとお考えですか ※複数回答可)

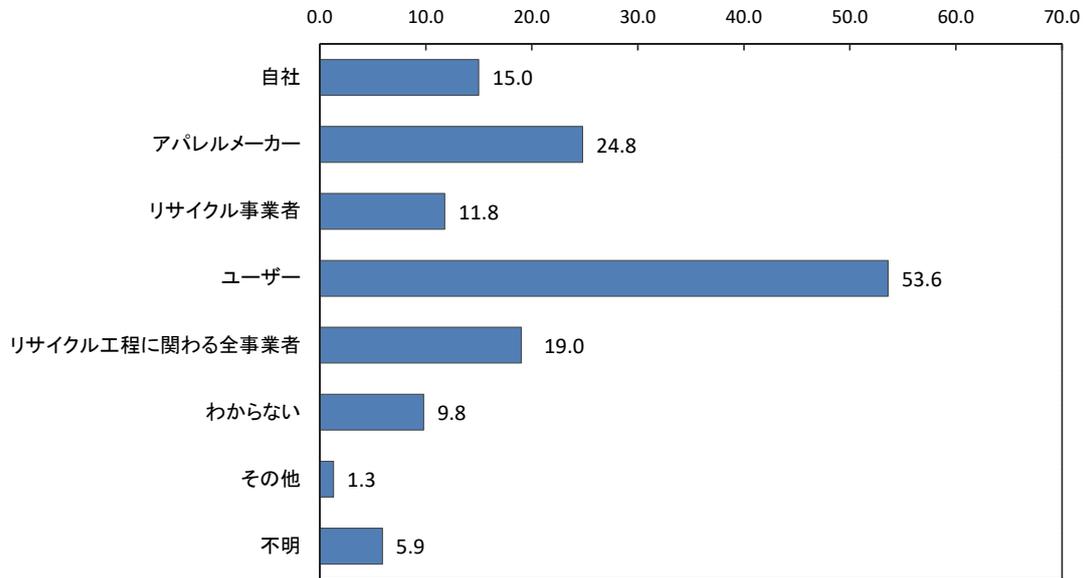
・リサイクルコストの将来的な負担先を聞いたところ、全体では「ユーザー(着用者・着用企業)」が53.6%と最も高かった。次いで「アパレルメーカー」が24.8%、「リサイクル工程に関わる全事業者」が19.0%となる。回答企業は、ユーザーがリサイクルコスト分も含めて製品を購入する必要があると考えているようだ。

	調査数	将来的に負担すべきところ								
		自社	アパレルメーカー	リサイクル事業者	ユーザー	リサイクル工程に関わる全事業者	わからない	その他	不明	
全体	153	23	38	18	82	29	15	2	9	
	100.0	15.0	24.8	11.8	53.6	19.0	9.8	1.3	5.9	
業 種 別	商社	14	1	5	1	9	2	-	-	1
		100.0	7.1	35.7	7.1	64.3	14.3	-	-	7.1
	素材	8	1	2	1	6	1	-	-	1
		100.0	12.5	25.0	12.5	75.0	12.5	-	-	12.5
	アパレルメーカー	26	4	3	2	17	4	4	-	1
		100.0	15.4	11.5	7.7	65.4	15.4	15.4	-	3.8
	付属資材	2	1	1	-	1	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-
	リサイクル業者	2	1	1	-	2	-	-	-	-
		100.0	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-
販売会社	87	11	22	10	40	20	10	1	5	
	100.0	12.6	25.3	11.5	46.0	23.0	11.5	1.1	5.7	
団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	14	3	3	3	6	2	1	1	1	
	100.0	23.1	23.1	23.1	46.2	15.4	7.7	7.7	7.7	
従 業 員 数 別	50人以上	48	8	6	8	30	8	2	1	3
		100.0	16.7	12.5	16.7	62.5	16.7	4.2	2.1	6.3
	10~49人	51	8	14	4	27	9	8	-	2
		100.0	15.7	27.5	7.8	52.9	17.6	15.7	-	3.9
	1~9人	48	6	17	5	21	12	4	1	3
	100.0	12.5	35.4	10.4	43.8	25.0	8.3	2.1	6.3	
不明	6	1	1	1	4	-	1	-	1	
	100.0	16.7	16.7	16.7	66.7	-	16.7	-	16.7	
売 上 高 別	30億円以上	33	6	6	5	20	6	-	1	3
		100.0	18.2	18.2	15.2	60.6	18.2	-	3.0	9.1
	3~30億円未満	56	8	14	7	34	10	7	-	1
		100.0	14.3	25.0	12.5	60.7	17.9	12.5	-	1.8
	3億円未満	56	8	16	5	23	13	7	1	4
	100.0	14.3	28.6	8.9	41.1	23.2	12.5	1.8	7.1	
不明	8	1	2	1	5	-	1	-	1	
	100.0	12.5	25.0	12.5	62.5	-	12.5	-	12.5	

n= 153

将来的に負担すべきところ

(%)

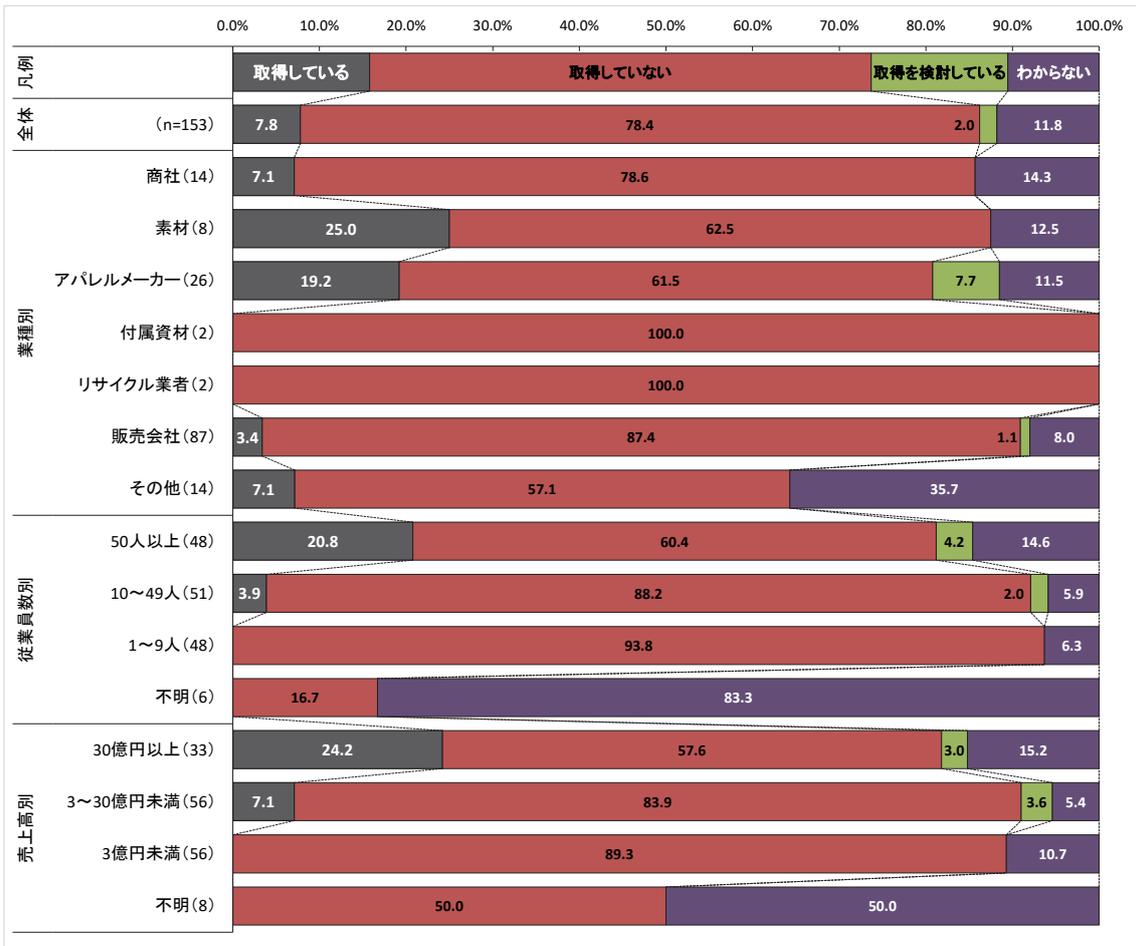
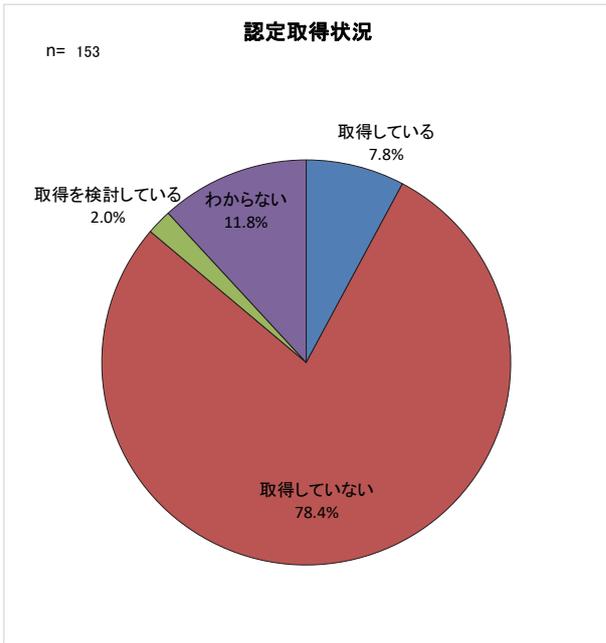


4-1.広域認定制度の認定取得状況について

(4-1. 貴社の広域認定制度の認定取得状況についてお聞かせください。)

・広域認定制度の取得状況は、全体では「取得していない」が 78.4%となった。回答の半数以上が取得していないことが窺える。

		調査数	認定取得状況			
			取得している	取得していない	取得を検討している	わからない
全体		153 100.0	12 7.8	120 78.4	3 2.0	18 11.8
業 種 別	商社	14 100.0	1 7.1	11 78.6	- -	2 14.3
	素材	8 100.0	2 25.0	5 62.5	- -	1 12.5
	アパレルメーカー	26 100.0	5 19.2	16 61.5	2 7.7	3 11.5
	付属資材	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -
	リサイクル業者	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -
	販売会社	87 100.0	3 3.4	76 87.4	1 1.1	7 8.0
	団体	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	14 100.0	1 7.1	8 57.1	- -	5 35.7
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	10 20.8	29 60.4	2 4.2
10~49人		51 100.0	2 3.9	45 88.2	1 2.0	3 5.9
1~9人		48 100.0	- -	45 93.8	- -	3 6.3
不明		6 100.0	- -	1 16.7	- -	5 83.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	8 24.2	19 57.6	1 3.0	5 15.2
	3~30億円未満	56 100.0	4 7.1	47 83.9	2 3.6	3 5.4
	3億円未満	56 100.0	- -	50 89.3	- -	6 10.7
	不明	8 100.0	- -	4 50.0	- -	4 50.0

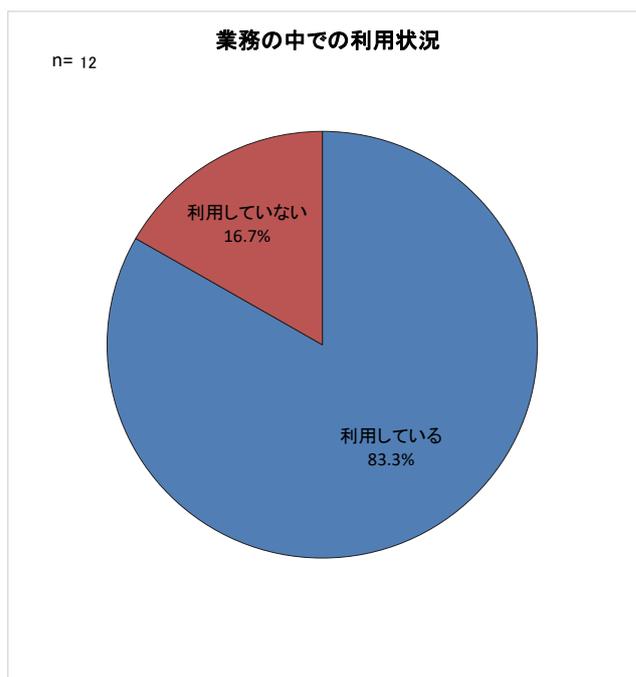


4-2.広域認定の利用状況について

(4-2. 4-1で「取得している」と回答した方にお聞きします。広域認定を業務の中で利用していますか。)

・前問で「取得している」と回答した企業に対し、業務の中でどのように利用しているかを聞いたところ、全体では「利用している」が83.3%と大半が制度を業務の中で利用していることが分かった。

	調査数	業務の中での利用状況		
		利用している	利用していない	
全体	12 100.0	10 83.3	2 16.7	
業 種 別	商社	1 100.0	1 100.0	- -
	素材	2 100.0	2 100.0	- -
	アパレルメーカー	5 100.0	3 60.0	2 40.0
	付属資材	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-
	販売会社	3 100.0	3 100.0	- -
	団体	-	-	-
	その他	1 100.0	1 100.0	- -
	従 業 員 数 別	50人以上	10 100.0	8 80.0
10~49人		2 100.0	2 100.0	- -
1~9人		-	-	-
不明		-	-	-
売 上 高 別	30億円以上	8 100.0	7 87.5	1 12.5
	3~30億円未満	4 100.0	3 75.0	1 25.0
	3億円未満	-	-	-
	不明	-	-	-

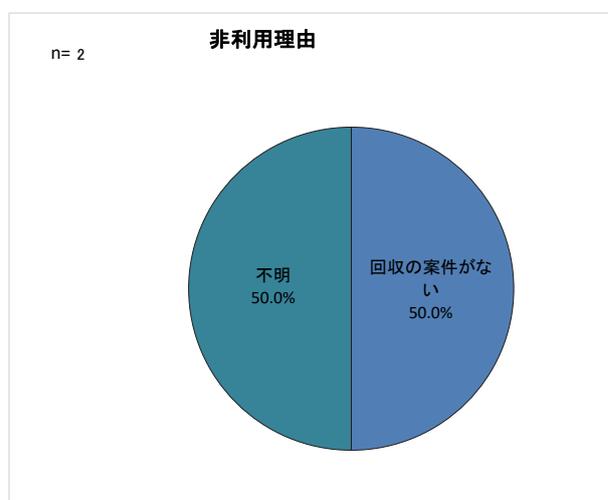


4-3.広域認定の非利用の理由について

(4-3. 4-2 で「利用していない」と回答した方にお聞きします。その理由をお聞かせください。※複数回答可)

・制度を「利用していない」と回答した企業に対し、利用しない理由について聞いた。回答数が極端に少ないためあくまで参考となるが、「回収の案件がない」の回答があった。

	調査数	非利用理由						
		回収の案件がない	現行制度が法的に自社ビジネスの実態に合致していない	手間が掛かる	商習慣上、回収物の処理費用が自社負担となる	よくわからない	その他	不明
全体	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0
業 種 別	商社	-	-	-	-	-	-	-
	素材	-	-	-	-	-	-	-
	アパレルメーカー	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-	-	-	-	-
	販売会社	-	-	-	-	-	-	-
	団体	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
	従業員数別	50人以上 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-
	10~49人	-	-	-	-	-	-	-
	1~9人	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-
売上高別	30億円以上 100.0	1	-	-	-	-	-	1 100.0
	3~30億円未満 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-
	3億円未満	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-



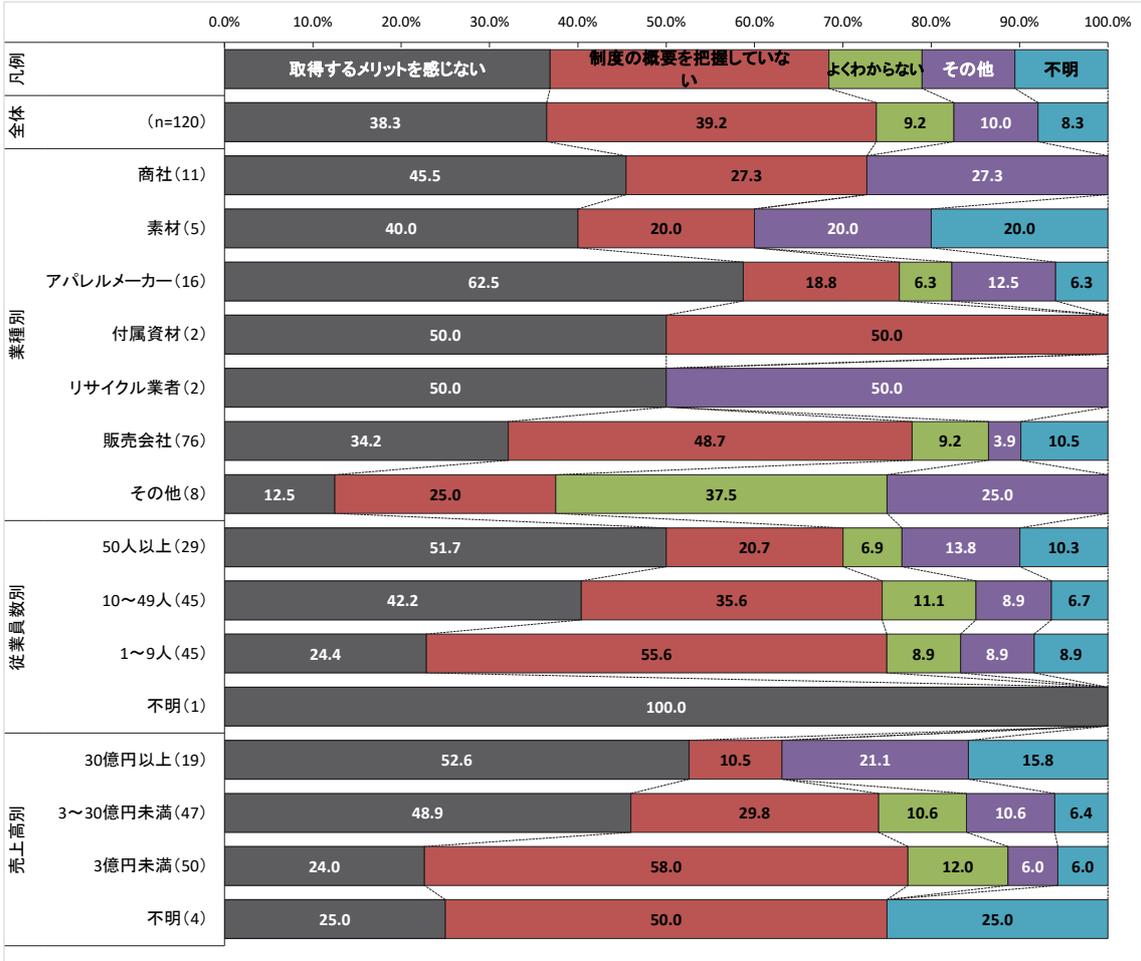
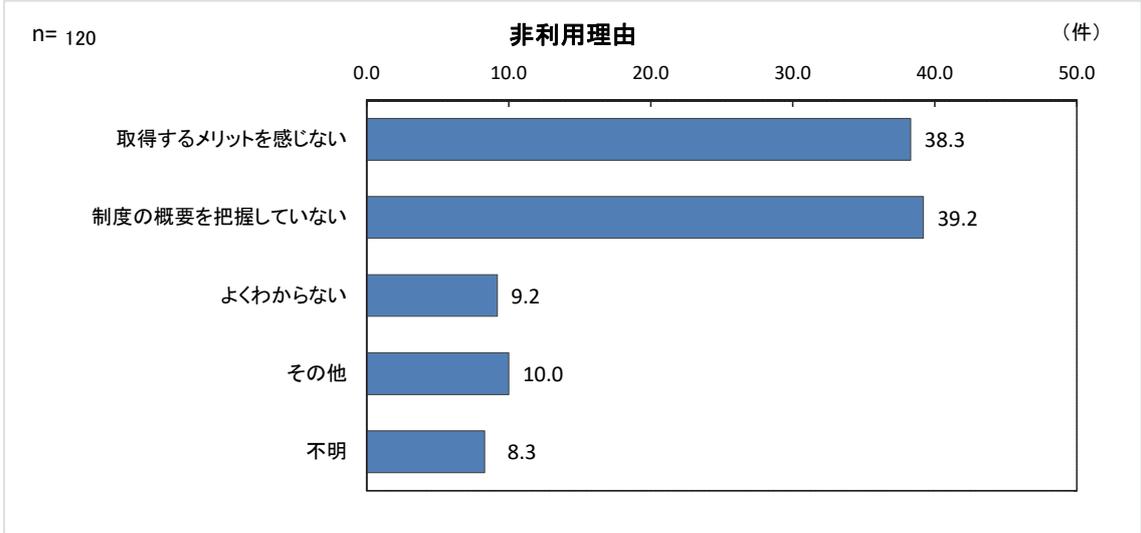
4-4.広域認定の非取得の理由について

(4-4. 4-1 で「取得していない」と回答した方にお聞きします。その理由をお聞かせください。※複数回答可)

・広域認定制度を取得していないと回答した企業に対し、その理由を聞いたところ、全体では「制度の概要を把握していない」が39.2%と最も高く、次いで「取得するメリットを感じない」が38.3%と僅差となった。制度自体を把握していないうえ、そのメリットも感じないという回答は、ある意味、大きな課題と言える。

・なお、FA では「全てを自社で行うのではなく、各ステークホルダーがビジネスとして成り立つリサイクルシステムを構築したい」「費用対効果が見込めない」「販売店なのでアパレルメーカーにシステムがあれば利用する」「広域認定業者にリサイクル事業を委託している」「認定の取得までに時間と費用がかかるため」「取得のためのリソースを割く余裕がない」「弊社から各地の販売店を経由してエンドユーザーへ販売しているため、広域認定の取得は販売店が担っているケースがある」「現状は製造のみで、回収のプラットフォームを有していない」という回答もあった。

	調査数	非取得理由					
		取得する メリットを 感じない	制度の概 要を把握し ていない	よくわか らない	その他	不明	
全体	120 100.0	46 38.3	47 39.2	11 9.2	12 10.0	10 8.3	
業 種 別	商社	11 100.0	5 45.5	3 27.3	- -	3 27.3	- -
	素材	5 100.0	2 40.0	1 20.0	- -	1 20.0	1 20.0
	アパレルメーカー	16 100.0	10 62.5	3 18.8	1 6.3	2 12.5	1 6.3
	付属資材	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -
	販売会社	76 100.0	26 34.2	37 48.7	7 9.2	3 3.9	8 10.5
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	8 100.0	1 12.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	- -
	従 業 員 数 別	50人以上	29 100.0	15 51.7	6 20.7	2 6.9	4 13.8
10~49人		45 100.0	19 42.2	16 35.6	5 11.1	4 8.9	3 6.7
1~9人		45 100.0	11 24.4	25 55.6	4 8.9	4 8.9	4 8.9
不明		1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
売 上 高 別	30億円以上	19 100.0	10 52.6	2 10.5	- -	4 21.1	3 15.8
	3~30億円未満	47 100.0	23 48.9	14 29.8	5 10.6	5 10.6	3 6.4
	3億円未満	50 100.0	12 24.0	29 58.0	6 12.0	3 6.0	3 6.0
	不明	4 100.0	1 25.0	2 50.0	- -	- -	1 25.0

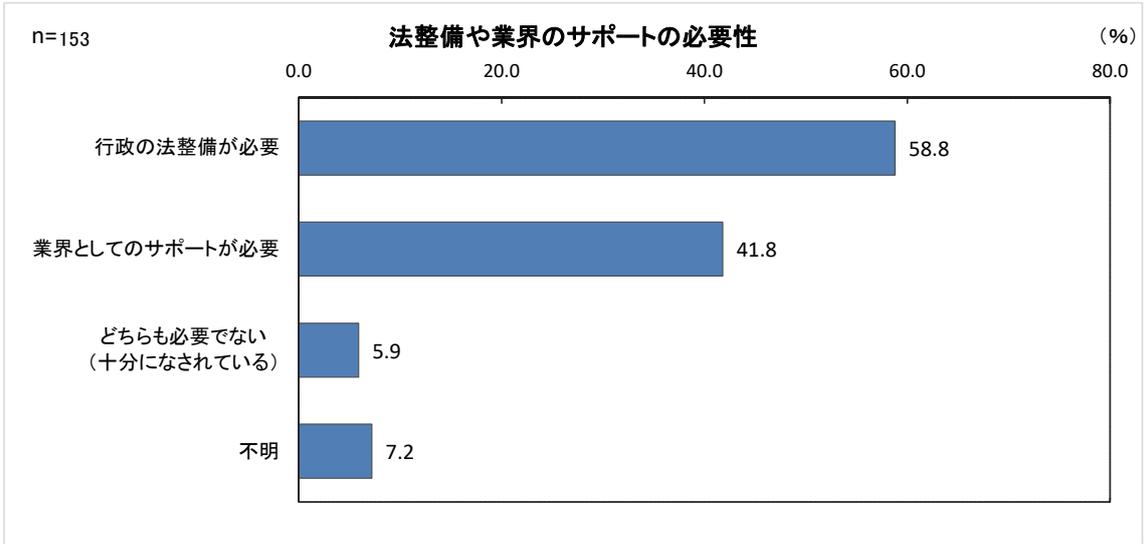


4-5.国の法整備や業界のサポートの有無について

(4-5. 回収について、国としての法整備や業界としてのサポートが必要であるとお考えですか)

・法整備や業界のサポートが必要かを聞いたところ、全体では「行政の法整備が必要」が58.8%と最も高く、次いで「業界としてのサポートが必要」が41.8%となった。認定制度の理解や認知といった部分でも、行政や業界がサポートする形で取得や利用する方向へつなげていくことが必要であると考えられる。

		調査数	法整備や業界のサポートの必要性			
			行政の法整備が必要	業界としてのサポートが必要	どちらも必要でない (十分になされている)	不明
全体		153 100.0	90 58.8	64 41.8	9 5.9	11 7.2
業 種 別	商社	14 100.0	13 92.9	1 7.1	-	1 7.1
	素材	8 100.0	6 75.0	2 25.0	-	1 12.5
	アパレルメーカー	26 100.0	16 61.5	15 57.7	2 7.7	1 3.8
	付属資材	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-
	販売会社	87 100.0	46 52.9	37 42.5	6 6.9	8 9.2
	団体	-	-	-	-	-
	その他	14 100.0	7 50.0	7 50.0	-	-
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	34 70.8	17 35.4	2 4.2
10~49人		51 100.0	29 56.9	23 45.1	5 9.8	1 2.0
1~9人		48 100.0	23 47.9	23 47.9	2 4.2	5 10.4
不明		6 100.0	4 66.7	1 16.7	-	2 33.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	26 78.8	11 33.3	1 3.0	2 6.1
	3~30億円未満	56 100.0	33 58.9	25 44.6	4 7.1	1 1.8
	3億円未満	56 100.0	26 46.4	27 48.2	3 5.4	6 10.7
	不明	8 100.0	5 62.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0

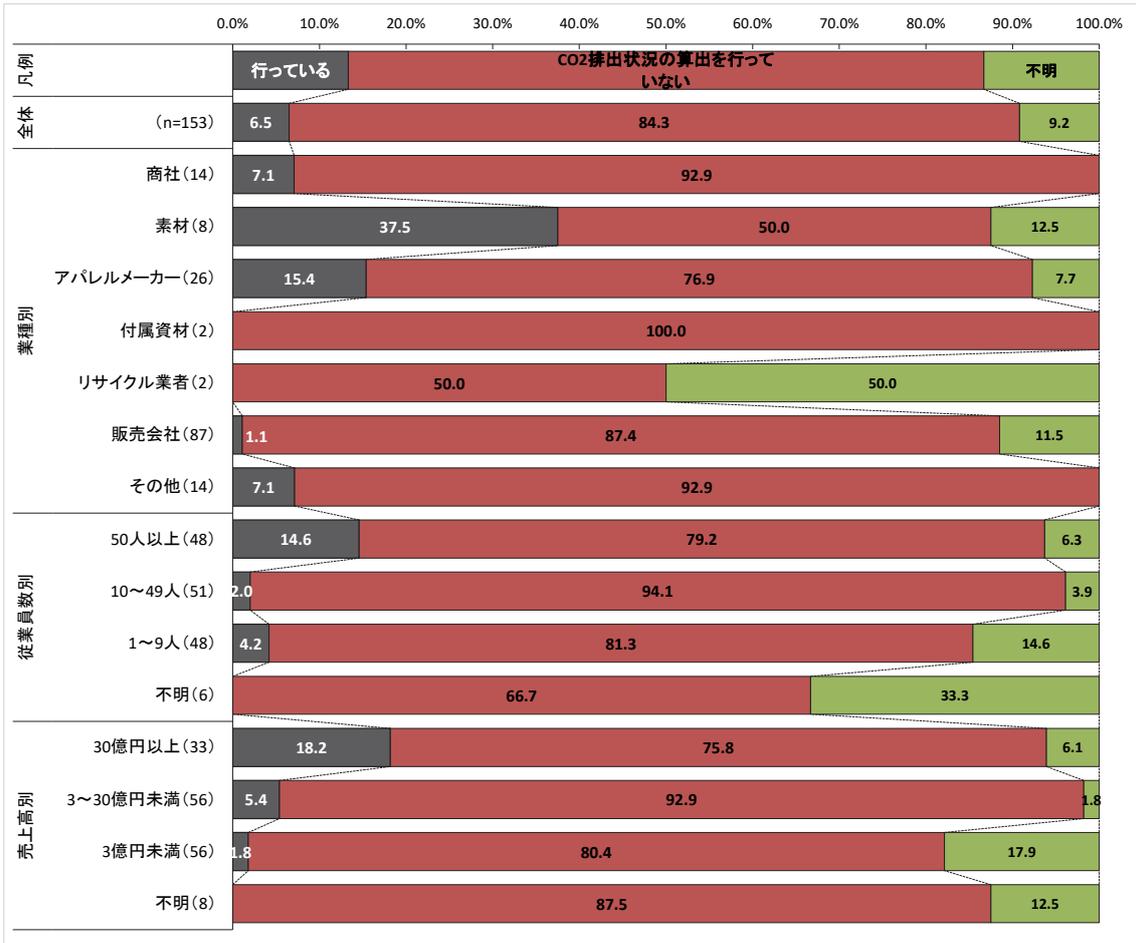
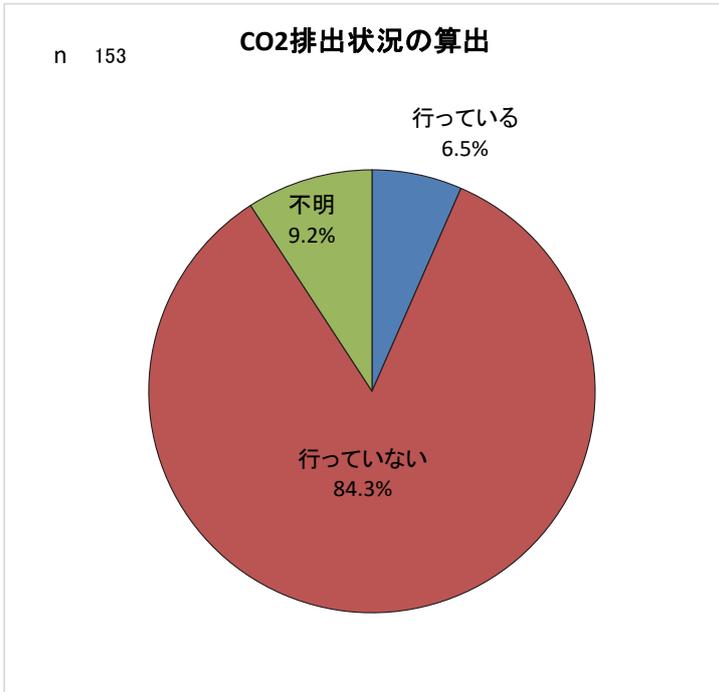


5-1.ユニフォーム製造に関わる CO2 排出状況の算出について

(5-1. 貴社のユニフォーム製造に関わる CO2 排出状況の算出について、現状をお聞かせください)

・CO2 排出状況について聞いたところ、全体では CO2 排出状況の算出を「行っていない」が 84.3%と最も高かった。

		調査数	CO2排出状況の算出		
			行っている	行っていない	不明
全体		153 100.0	10 6.5	129 84.3	14 9.2
業 種 別	商社	14 100.0	1 7.1	13 92.9	- -
	素材	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5
	アパレルメーカー	26 100.0	4 15.4	20 76.9	2 7.7
	付属資材	2 100.0	- -	2 100.0	- -
	リサイクル業者	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0
	販売会社	87 100.0	1 1.1	76 87.4	10 11.5
	団体	- -	- -	- -	- -
	その他	14 100.0	1 7.1	13 92.9	- -
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	7 14.6	38 79.2
10~49人		51 100.0	1 2.0	48 94.1	2 3.9
1~9人		48 100.0	2 4.2	39 81.3	7 14.6
不明		6 100.0	- -	4 66.7	2 33.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	6 18.2	25 75.8	2 6.1
	3~30億円未満	56 100.0	3 5.4	52 92.9	1 1.8
	3億円未満	56 100.0	1 1.8	45 80.4	10 17.9
	不明	8 100.0	- -	7 87.5	1 12.5

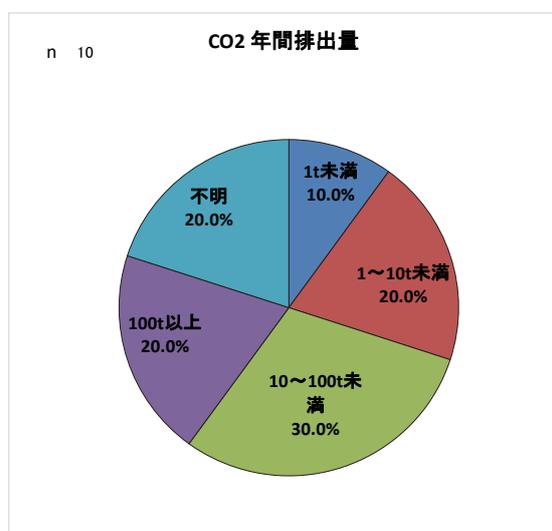


5-2.年間当たりのCO2 排出量について

(5-2. 5-1 で「排出量の算出を行っている」と回答した方にお聞きします。年間当たりどのくらいの排出量ですか。)

・CO2 の年間排出量を聞いたところ、全体では「10～100t 未満」が最も高かった。平均では133.85t となる。

		調査数	CO2 年間排出量					平均(t)
			1t未満	1～10t未満	10～100t未満	100t以上	不明	
全体		10 100.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	2 20.0	133.85
業 種 別	商社	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	素材	3 100.0	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	127.5
	アパレルメーカー	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	182.7
	付属資材	-	-	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	-	-	-	-	-	-	-
	販売会社	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	80
	団体	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	5
	従 業 員 数 別	50人以上	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3
10～49人		1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	80
1～9人		2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	50
不明		-	-	-	-	-	-	-
売 上 高 別	30億円以上	6 100.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	187.16
	3～30億円未満	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	42.5
	3億円未満	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	50
	不明	-	-	-	-	-	-	-



5-3.ユニフォーム製造に関わる CO2 排出量削減について

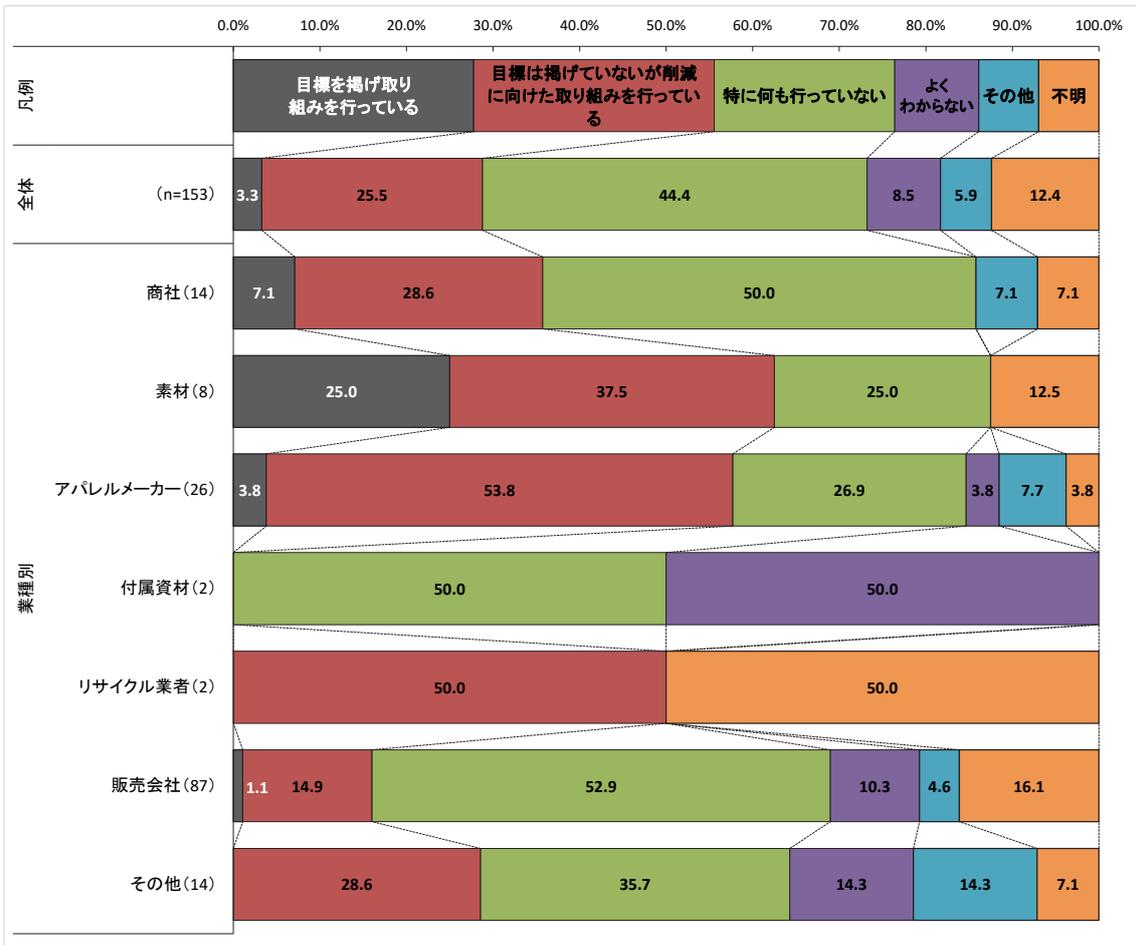
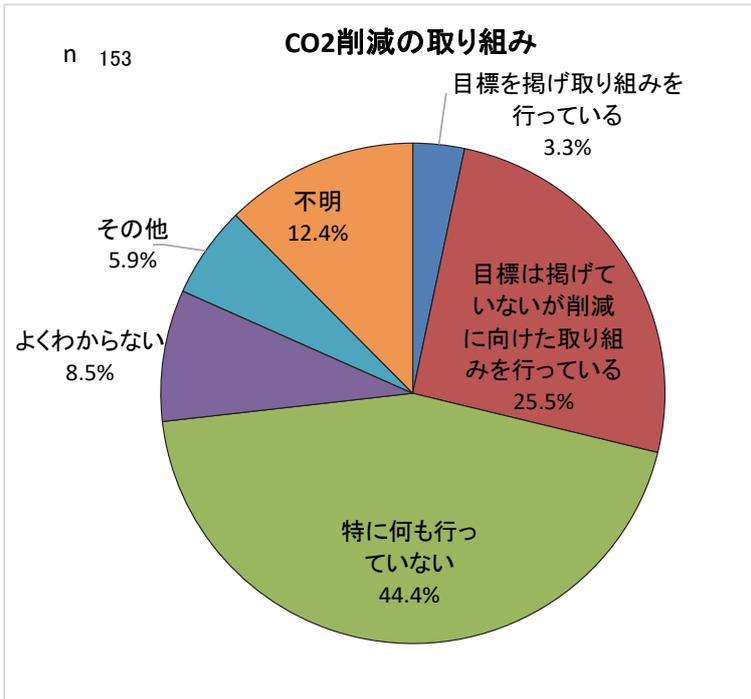
(5-3. 貴社のユニフォーム製造に関わる CO2 排出量削減について、現状をお聞かせください)

・CO2 削減の取り組みについて、全体では「特に何も行っていない」が 44.4%と最も高かった。次いで「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」が 25.5%となっている。なお、「目標を掲げ取り組みを行っている」と「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」を合算した「TOP2」を見ると、全体で 28.8%となり、全体の約 3 割が CO2 削減の取り組みを行っていると回答している。

・FA では「加工はあるが製造はほぼゼロであるため」「リサイクル糸を使用し、商品を製造しているため」という回答もあった。

	調査数	CO2削減の取り組み							
		目標を掲げ取り組みを行っている	目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている	特に何も行っていない	よくわからない	その他	不明	TOP2※	
全体	153 100.0	5 3.3	39 25.5	68 44.4	13 8.5	9 5.9	19 12.4	44 28.8	
業 種 別	商社	14 100.0	1 7.1	4 28.6	7 50.0	-	1 7.1	1 35.7	5
	素材	8 100.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	-	-	1 12.5	5 62.5
	アパレルメーカー	26 100.0	1 3.8	14 53.8	7 26.9	1 3.8	2 7.7	1 3.8	15 57.7
	付属資材	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	1 50.0
	販売会社	87 100.0	1 1.1	13 14.9	46 52.9	9 10.3	4 4.6	14 16.1	14 16.1
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	14 100.0	-	4 28.6	5 35.7	2 14.3	2 14.3	1 7.1	3 23.1
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	3 6.3	23 47.9	12 25.0	4 8.3	2 4.2	4 8.3
10~49人		51 100.0	2 3.9	8 15.7	27 52.9	4 7.8	5 9.8	5 9.8	10 19.6
1~9人		48 100.0	-	7 14.6	27 56.3	4 8.3	1 2.1	9 18.8	7 14.6
不明		6 100.0	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	2 6.1	16 48.5	8 24.2	3 9.1	1 3.0	3 9.1	18 54.5
	3~30億円未満	56 100.0	3 5.4	15 26.8	25 44.6	2 3.6	6 10.7	5 8.9	18 32.1
	3億円未満	56 100.0	-	5 8.9	30 53.6	8 14.3	2 3.6	11 19.6	5 8.9
	不明	8 100.0	-	3 37.5	5 62.5	-	-	-	3 37.5

※TOP2は、「目標を掲げ取り組みを行っている」と「目標は掲げていないが削減に向けた取り組みを行っている」を合算した値



5-4.CO2 排出量削減の評価における第三者認証の必要性について

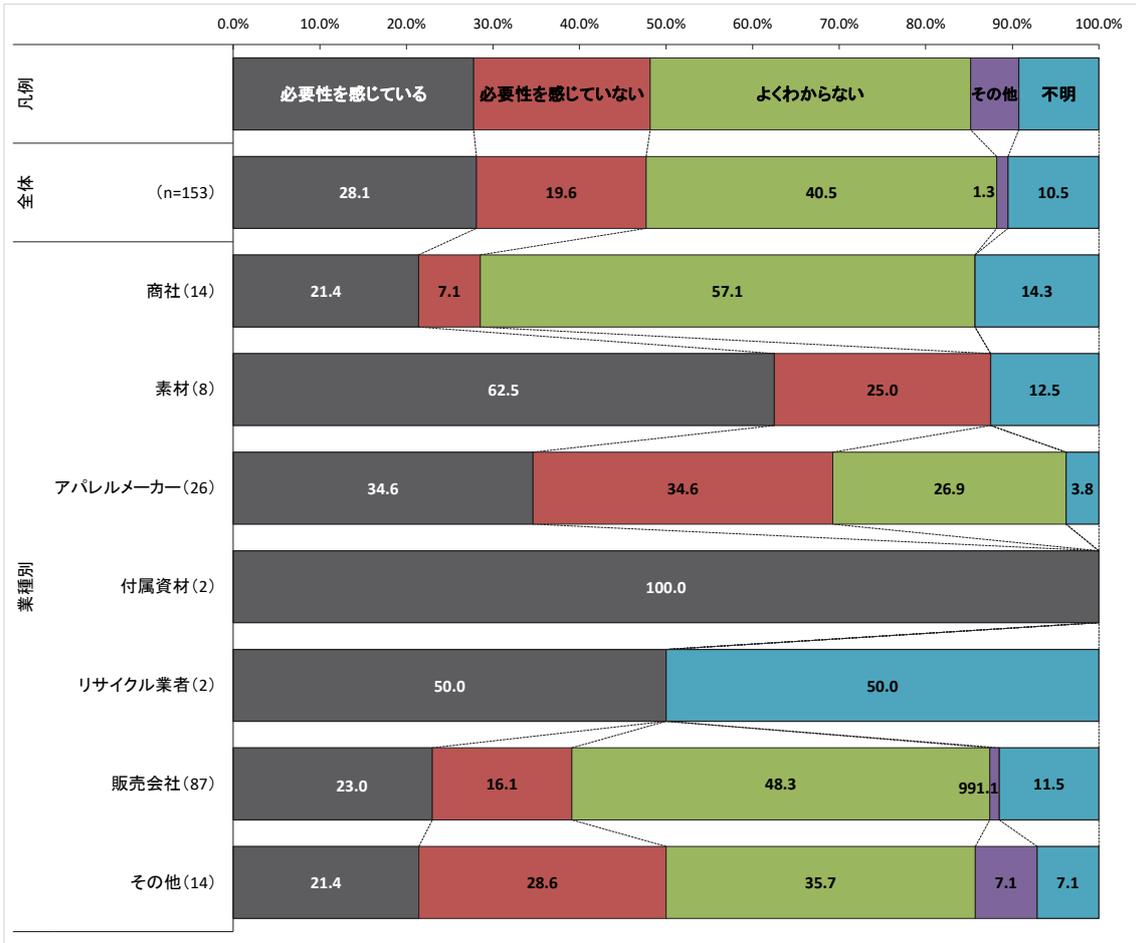
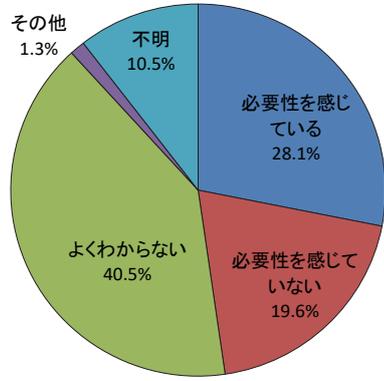
(5-4. CO2 排出量削減の評価における第三者認証の必要性について、どのようにお考えですか)

・第三者認証の必要性について、全体では「よくわからない」が 40.5%と最も高かった。次いで「必要性を感じている」が 28.1%となっている。「必要性を感じていない」が 19.6%あるが、必要性を感じていると考えている方が高い。

・なお、FA では「業界で基本の方針を策案し取り組むべき」という回答もあった。

	調査数	CO2削減の評価における第三者認証					
		必要性を感じている	必要性を感じていない	よくわからない	その他	不明	
全体	153 100.0	43 28.1	30 19.6	62 40.5	2 1.3	16 10.5	
業 種 別	商社	14 100.0	3 21.4	1 7.1	8 57.1	-	2 14.3
	素材	8 100.0	5 62.5	2 25.0	-	-	1 12.5
	アパレルメーカー	26 100.0	9 34.6	9 34.6	7 26.9	-	1 3.8
	付属資材	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0
	販売会社	87 100.0	20 23.0	14 16.1	42 48.3	1 1.1	10 11.5
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	14 100.0	3 21.4	4 28.6	5 35.7	1 7.1	1 7.1
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	20 41.7	9 18.8	14 29.2	-
10~49人		51 100.0	14 27.5	11 21.6	23 45.1	-	3 5.9
1~9人		48 100.0	9 18.8	9 18.8	22 45.8	1 2.1	7 14.6
不明		6 100.0	- -	1 16.7	3 50.0	1 16.7	1 16.7
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	18 54.5	4 12.1	7 21.2	-	4 12.1
	3~30億円未満	56 100.0	12 21.4	14 25.0	28 50.0	-	2 3.6
	3億円未満	56 100.0	11 19.6	9 16.1	24 42.9	2 3.6	10 17.9
	不明	8 100.0	2 25.0	3 37.5	3 37.5	-	-

n 153 CO2削減の評価における第三者認証



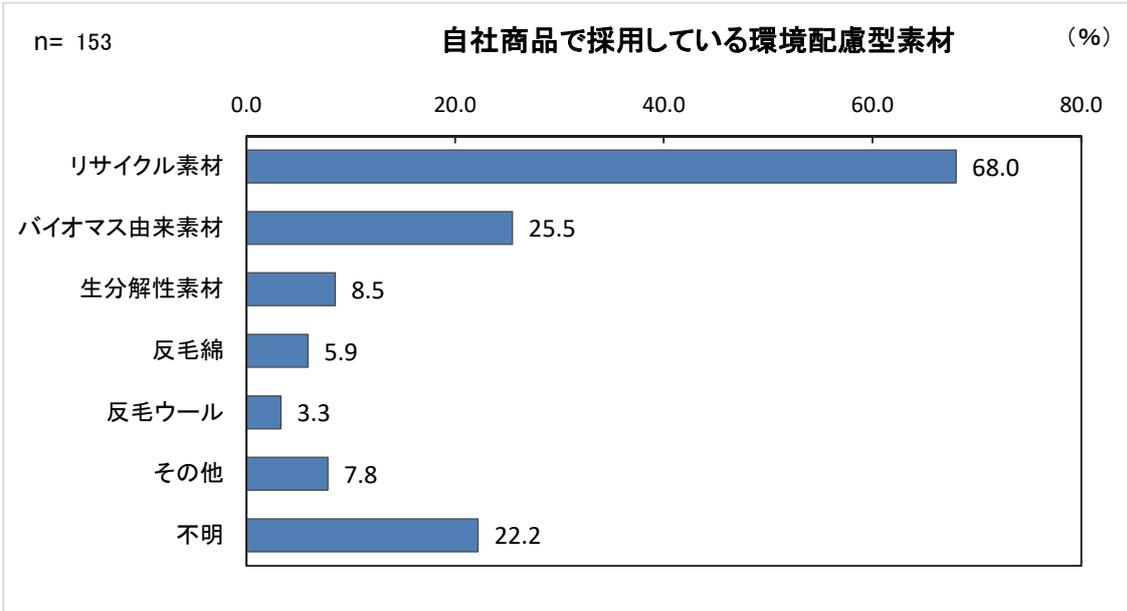
6-1. 貴社商品に採用されている環境配慮型素材について

(6-1. 貴社の商品に採用されている環境配慮型素材を教えてください。 ※複数回答可)

・環境配慮型素材について、全体では「リサイクル素材」が 68.0%と最も高く、次いで「バイオマス由来素材」が 25.5%、「生分解性素材」が 8.5%となる。

・なお、FA では「製造していない」「独自の商材はない」「一部再生 PET を使用している」「取扱いメーカーがリサイクル活動を行っている」「自社商品を扱っていない」「原着、節水、処理水浄化、燃料化など環境配慮やゼロエミッションの取組む企業から材料を調達している」という回答もあった。

	調査数	自社商品で採用している環境配慮型素材							
		リサイク ル素材	バイオマス 由来素材	生分解 性素材	反毛綿	反毛ウー ル	その他	不明	
全体	153 100.0	104 68.0	39 25.5	13 8.5	9 5.9	5 3.3	12 7.8	34 22.2	
業 種 別	商社	14 100.0	10 71.4	6 42.9	3 21.4	1 7.1	2 14.3	3 21.4	- -
	素材	8 100.0	6 75.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	- -	- -	2 25.0
	アパレルメーカー	26 100.0	21 80.8	8 30.8	2 7.7	- -	- -	3 11.5	3 11.5
	付属資材	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0
	販売会社	87 100.0	55 63.2	20 23.0	5 5.7	6 6.9	2 2.3	4 4.6	25 28.7
	団体	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	その他	14 100.0	9 61.5	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	3 23.1
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	37 77.1	15 31.3	8 16.7	6 12.5	3 6.3	3 6.3
10~49人		51 100.0	34 66.7	15 29.4	5 9.8	3 5.9	2 3.9	4 7.8	10 19.6
1~9人		48 100.0	31 64.6	9 18.8	- -	- -	- -	3 6.3	14 29.2
不明		6 100.0	2 33.3	- -	- -	- -	- -	2 33.3	2 33.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	26 78.8	10 30.3	7 21.2	5 15.2	3 9.1	2 6.1	6 18.2
	3~30億円未満	56 100.0	40 71.4	16 28.6	6 10.7	2 3.6	2 3.6	3 5.4	10 17.9
	3億円未満	56 100.0	33 58.9	12 21.4	- -	2 3.6	- -	6 10.7	16 28.6
	不明	8 100.0	5 62.5	1 12.5	- -	- -	- -	1 12.5	2 25.0



6-2.貴社商品で行っている環境保護に関する取り組みについて

(6-2. 貴社の商品に対して行っている、環境保護に関する取り組みを教えてください。 ※複数回答可)

・自社商品に対して行っている環境保護に関する取り組みについて、全体では「梱包の簡素化」が 33.3%と最も高い。次いで「環境配慮型の素材を使用した製品開発」が 32.7%、「梱包材や資材類へのリサイクル素材の使用」が 24.2%、「修理・リペアサービスの展開」が 19.6%となっている。

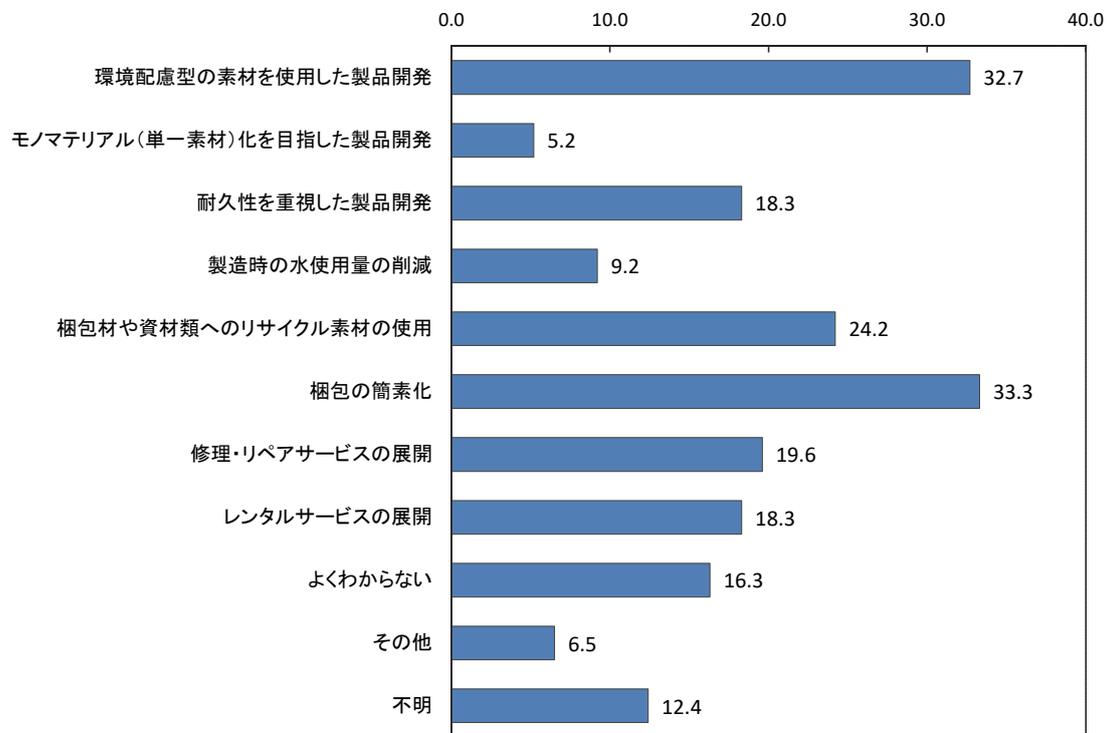
・なお、FA では「現在、実施に向け検討中」「製造していない」「環境に配慮した製品の提案(消費者に向けて)」「まだ取り組んでいない」「取扱いメーカーがリサイクル活動を行っている」「太陽光発電の導入(工場)、電気自動車の活用」という回答もあった。

	調査数	自社商品に対して行っている取り組み											
		環境配慮型の素材を使用した製品開発	モノマテリアル(単一素材)化を旨とした製品開発	耐久性を重視した製品開発	製造時の水使用量の削減	梱包材や資材類へのリサイクル素材の使用	梱包の簡素化	修理・リペアサービスの展開	レンタルサービスの展開	よくわからない	その他	不明	
全体	153 100.0	50 32.7	8 5.2	28 18.3	14 9.2	37 24.2	51 33.3	30 19.6	28 18.3	25 16.3	10 6.5	19 12.4	
業種別	商社	14 100.0	7 50.0	2 14.3	4 28.6	3 21.4	4 28.6	3 21.4	1 7.1	4 28.6	2 14.3	1 7.1	-
	素材	8 100.0	6 75.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	-	-	1 12.5
	アパレルメーカー	26 100.0	16 61.5	2 7.7	12 46.2	4 15.4	9 34.6	10 38.5	5 19.2	5 19.2	1 3.8	3 11.5	-
	付属資材	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	1 50.0
	販売会社	87 100.0	15 17.2	3 3.4	7 8.0	2 2.3	19 21.8	31 35.6	16 18.4	12 13.8	18 20.7	5 5.7	16 18.4
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	13 100.0	4 30.8	-	3 23.1	1 7.7	2 15.4	2 15.4	5 38.5	5 38.5	4 30.8	1 7.7	1 7.7
	従業員数別	50人以上	48 100.0	28 58.3	4 8.3	11 22.9	10 20.8	12 25.0	14 29.2	12 25.0	12 25.0	5 10.4	2 4.2
10~49人		51 100.0	15 29.4	2 3.9	11 21.6	2 3.9	20 39.2	20 39.2	13 25.5	11 21.6	7 13.7	3 5.9	4 7.8
1~9人		48 100.0	6 12.5	2 4.2	6 12.5	2 4.2	5 10.4	15 31.3	5 10.4	5 10.4	11 22.9	4 8.3	9 18.8
不明		6 100.0	1 16.7	-	-	-	-	2 33.3	-	-	2 33.3	1 16.7	1 16.7
売上高別	30億円以上	33 100.0	20 60.6	4 12.1	11 33.3	9 27.3	9 27.3	10 30.3	9 27.3	9 27.3	2 6.1	-	4 12.1
	3~30億円未満	56 100.0	22 39.3	2 3.6	12 21.4	4 7.1	19 33.9	21 37.5	15 26.8	12 21.4	8 14.3	4 7.1	5 8.9
	3億円未満	56 100.0	5 8.9	2 3.6	5 8.9	1 1.8	7 12.5	16 28.6	6 10.7	6 10.7	12 21.4	6 10.7	10 17.9
	不明	8 100.0	3 37.5	-	-	-	2 25.0	4 50.0	-	1 12.5	3 37.5	-	-

n= 153

自社商品に対して行っている取り組み

(%)



7.ユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動について

(7. 貴社が考えるユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動を教えてください。

※3 つまで回答可)

・ユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動について、全体では「回収から再製品化までのリサイクルスキームを構築するべき」が 51.6%と約半数の回答が得られた。次いで「不要になったユニフォームの回収は行うべき」が 46.4%、「資源循環に対する理解度向上のための勉強会を積極的に実施するべき」が 28.1%となっている。

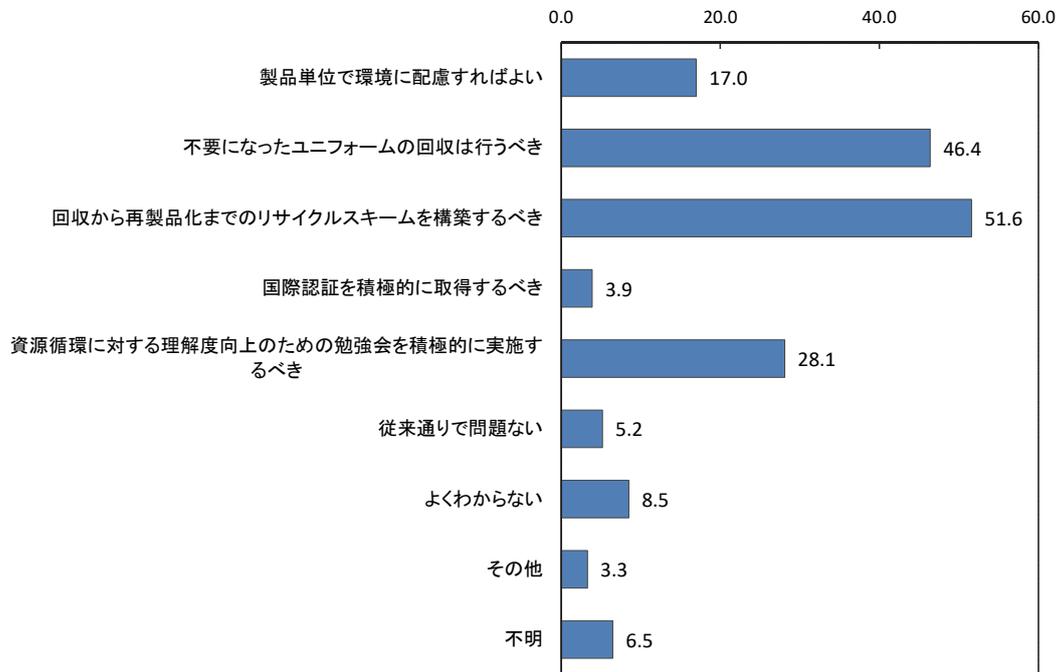
・なお、FA では「国が規制を作るべき」「社会全体の気運の高まりが必要」「安い商品を求められがち。環境に良いものは高額。ワーク業界全体でメーカーが手を組んで、同じ温度で同じ生地を使って商品開発する」という回答もあった。

		調査数	ユニフォーム業界全体で行うべき活動								
			製品単位 で環境に 配慮すれ ばよい	不要に なったユ ニフォー ムの回収 は行うべ き	回収から 再製品化 までのリ サイクル スキーム を構築す るべき	国際認証 を積極的 に取得す るべき	資源循環 に対する 理解度向 上のため の勉強会 を積極的 に実施す るべき	従来通り で問題な い	よくわか らない	その他	不明
全体		153 100.0	26 17.0	71 46.4	79 51.6	6 3.9	43 28.1	8 5.2	13 8.5	5 3.3	10 6.5
業 種 別	商社	14 100.0	4 28.6	6 42.9	9 64.3	1 7.1	2 14.3	-	1 7.1	-	-
	素材	8 100.0	2 25.0	6 75.0	6 75.0	1 12.5	4 50.0	-	-	-	-
	アパレルメーカー	26 100.0	3 11.5	10 38.5	17 65.4	1 3.8	7 26.9	4 15.4	1 3.8	3 11.5	-
	付属資材	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	2 100.0	-	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	1 50.0
	販売会社	87 100.0	17 19.5	41 47.1	38 43.7	2 2.3	22 25.3	3 3.4	10 11.5	2 2.3	8 9.2
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	13 100.0	-	6 46.2	7 53.8	-	6 46.2	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	4 8.3	21 43.8	35 72.9	1 2.1	19 39.6	2 4.2	1 2.1	1 2.1
10~49人		51 100.0	10 19.6	28 54.9	25 49.0	5 9.8	15 29.4	3 5.9	3 5.9	3 5.9	1 2.0
1~9人		48 100.0	12 25.0	21 43.8	18 37.5	-	9 18.8	2 4.2	7 14.6	1 2.1	4 8.3
不明		6 100.0	-	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	2 33.3	-	2 33.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	3 9.1	13 39.4	26 78.8	1 3.0	14 42.4	1 3.0	-	1 3.0	2 6.1
	3~30億円未満	56 100.0	10 17.9	33 58.9	31 55.4	4 7.1	14 25.0	2 3.6	3 5.4	2 3.6	2 3.6
	3億円未満	56 100.0	12 21.4	23 41.1	20 35.7	1 1.8	13 23.2	4 7.1	8 14.3	2 3.6	6 10.7
	不明	8 100.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	2 25.0	-	-

n= 153

ユニフォーム業界全体で行うべき活動

(%)



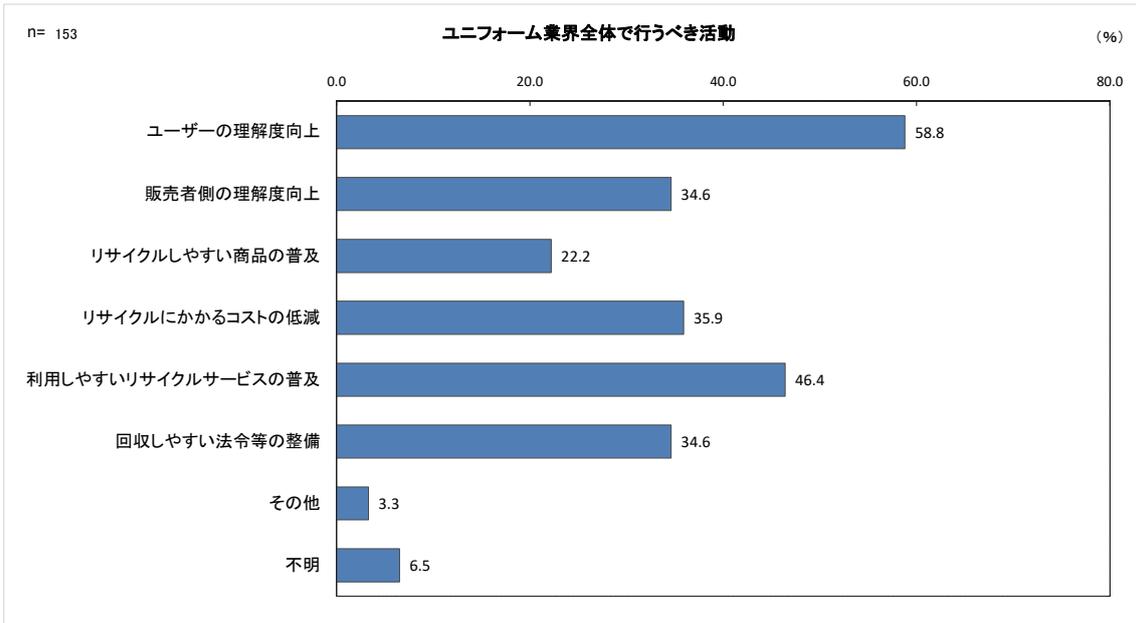
8.ユニフォームリサイクルの普及に必要と思われることについて

(8. 現状よりユニフォームのリサイクルが普及していく為に必要と思われることを教えてください。※3 つまで回答可)

・リサイクルの普及に必要なことを聞いたところ、全体では「ユーザーの理解度向上」が 58.8%と最も高い。次いで「利用しやすいリサイクルサービスの普及」が 46.4%、「リサイクルにかかるコストの低減」が 35.9%となる。リサイクルが普及するためにはユーザー側の理解が必要であると考えるのであれば、いかにユーザーに認知・理解をってもらうかが重要となってくる。

・なお、FA では「分かりやすいリサイクルシステム」「BRING ありきからの脱却、不透明な部分の開示」「社会的にユニフォームリサイクルへの意識が低い」「リサイクル業者がもっと必要」という回答もあった。

	調査数	リサイクルの一層の普及に必要なこと								
		ユーザーの理解度向上	販売者側の理解度向上	リサイクルしやすい商品の普及	リサイクルにかかるコストの低減	利用しやすいリサイクルサービスの普及	回収しやすい法令等の整備	その他	不明	
全体	153 100.0	90 58.8	53 34.6	34 22.2	55 35.9	71 46.4	53 34.6	5 3.3	10 6.5	
業 種 別	商社	14 100.0	12 85.7	4 28.6	2 14.3	2 14.3	7 50.0	5 35.7	1 7.1	1 7.1
	素材	8 100.0	5 62.5	1 12.5	4 50.0	2 25.0	4 50.0	5 62.5	-	-
	アパレルメーカー	26 100.0	15 57.7	5 19.2	2 7.7	15 57.7	12 46.2	13 50.0	-	1 3.8
	付属資材	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	-	-	-
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-
	販売会社	87 100.0	49 56.3	37 42.5	16 18.4	26 29.9	39 44.8	27 31.0	3 3.4	7 8.0
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	13 100.0	6 46.2	4 30.8	8 61.5	7 53.8	6 46.2	2 15.4	-	1 7.7
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	37 77.1	13 27.1	13 27.1	21 43.8	24 50.0	16 33.3	2 4.2
10～49人		51 100.0	30 58.8	21 41.2	7 13.7	18 35.3	26 51.0	18 35.3	2 3.9	3 5.9
1～9人		48 100.0	20 41.7	19 39.6	13 27.1	14 29.2	21 43.8	16 33.3	1 2.1	4 8.3
不明		6 100.0	3 50.0	-	1 16.7	2 33.3	-	3 50.0	-	2 33.3
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	26 78.8	10 30.3	10 30.3	13 39.4	14 42.4	12 36.4	2 6.1	1 3.0
	3～30億円未満	56 100.0	34 60.7	21 37.5	7 12.5	26 46.4	32 57.1	21 37.5	2 3.6	-
	3億円未満	56 100.0	25 44.6	20 35.7	14 25.0	14 25.0	22 39.3	18 32.1	1 1.8	9 16.1
	不明	8 100.0	5 62.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	2 25.0	-	-



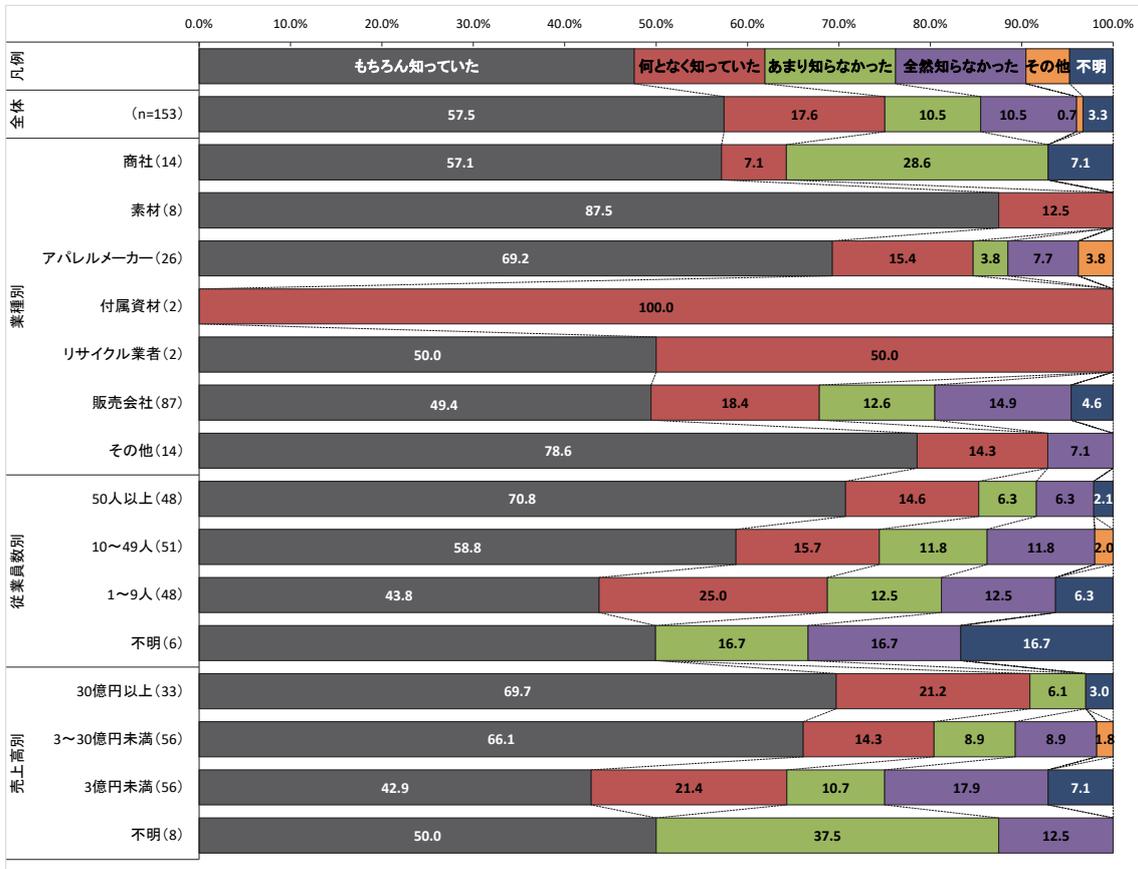
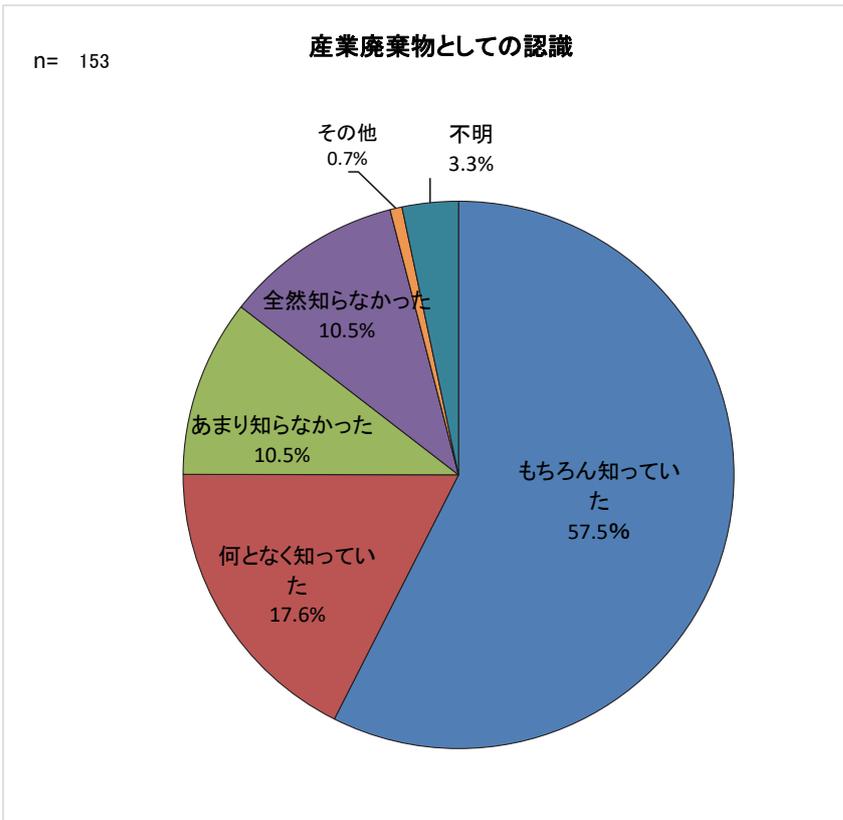
9.ユニフォームの産業廃棄物に対する認識

(9. 最後に、ユニフォームは産業廃棄物であるということをご存知でしたか)

・ユニフォームは産業廃棄物であるという認識について、全体では「もちろん知っていた」が57.5%と最も高い。「何となく知っていた」の17.6%を合算すると75.1%となり、実に8割近い回答企業がユニフォームは産業廃棄物であるということを知っている。その一方で約2割が「(あまり/全然)知らなかった」と回答しており、ユニフォームが産業廃棄物であるという認知度の向上が求められる結果となった。

	調査数	産業廃棄物としての認識								
		もちろん知っていた	何となく知っていた	あまり知らなかった	全然知らなかった	わからない	その他	不明	TOP2※	
全体	153 100.0	88 57.5	27 17.6	16 10.5	16 10.5	-	1 0.7	5 3.3	115 75.1	
業 種 別	商社	14 100.0	8 57.1	1 7.1	4 28.6	-	-	-	9 64.3	
	素材	8 100.0	7 87.5	1 12.5	-	-	-	-	8 100.0	
	アパレルメーカー	26 100.0	18 69.2	4 15.4	1 3.8	2 7.7	-	1 3.8	22 84.6	
	付属資材	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-	-	2 100.0	
	リサイクル業者	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	2 100.0	
	販売会社	87 100.0	43 49.4	16 18.4	11 12.6	13 14.9	-	-	4 4.6	
	団体	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	14 100.0	11 78.6	2 14.3	-	1 7.1	-	-	12 92.3	
	従 業 員 数 別	50人以上	48 100.0	34 70.8	7 14.6	3 6.3	3 6.3	-	-	1 2.1
		10~49人	51 100.0	30 58.8	8 15.7	6 11.8	6 11.8	-	1 2.0	-
1~9人		48 100.0	21 43.8	12 25.0	6 12.5	6 12.5	-	-	3 6.3	
不明		6 100.0	3 50.0	-	1 16.7	1 16.7	-	-	1 16.7	
売 上 高 別	30億円以上	33 100.0	23 69.7	7 21.2	2 6.1	-	-	-	1 3.0	
	3~30億円未満	56 100.0	37 66.1	8 14.3	5 8.9	5 8.9	-	1 1.8	-	
	3億円未満	56 100.0	24 42.9	12 21.4	6 10.7	10 17.9	-	-	4 7.1	
	不明	8 100.0	4 50.0	-	3 37.5	1 12.5	-	-	4 50.0	

※TOP2は、「もちろん知っていた」と「何となく知っていた」を合算した値



Ⅲ. 調査アンケート票

貴社名：

貴社所在地：〒

電話番号： _____ - _____ - _____ FAX 番号： _____ - _____ - _____

所属部署： _____ 回答者お名前： _____

※以下、該当するものに○印をつけてください。

業種 : 1.商社 2.素材 3.アパレルメーカー 4.付属資材 5.リサイクル業者 6.販売会社 7.団体 8.その他

従業員数 : 1.10人未満 2.10人以上30人未満 3.30人以上50人未満 4.50人以上100人未満 5.100人以上300人未満 6.300人以上 7.非公表

年間売上高 : 1.300万円未満 2.300万円以上500万円未満 3.500万円以上1,000万円未満 4.1,000万円以上3,000万円未満 5.3,000万円以上5,000万円未満 6.5,000万円以上1億円未満 7.1億円以上3億円未満 8.3億円以上5億円未満 9.5億円以上10億円未満 10.10億円以上30億円未満 11.30億円以上50億円未満 12.50億円以上100億円未満 13.100億円以上 14.非公表

■ユニフォーム業界における不要ユニフォームの回収・リサイクルの状況について

1-1. 貴社では不要になったユニフォームの回収をしていますか。※ただし自社内で着用するユニフォームを除く

- はい
- いいえ

1-2. 1-1で「はい」と回答した方にお聞きします。年間当たり、どのくらいの回収量ですか。着数か重量でお答えください。

着数	_____ 枚 程度
重量	_____ kg 程度

1-3. 1-1で「はい」と回答した方にお聞きします。回収後の取組みについて教えてください。※複数回答可

- リユース (※1) する
- リサイクル (※2) を行う
- 廃棄・処分する
- その他 ()

1-4. 1-3で「リサイクルを行う」と回答した方にお聞きします。該当するものを教えてください。※複数回答可

- ケミカルリサイクル (※3)
- マテリアルリサイクル (※4)
- サーマルリカバリー (※5)
- よくわからない
- その他 ()

1-5. 1-4で「ケミカルリサイクル」「マテリアルリサイクル」と回答した方にお聞きします。ケミカルリサイクルあるいはマテリアルリサイクルをした素材から再び自社製品を製造・販売していますか。

- はい
- いいえ

1-6. 1-1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。回収を実施していない理由を教えてください。※複数回答可

- 回収業務に割く人員が確保できない
- 回収後の処理方法がない
- 回収に対する費用対効果が見込めない
- よくわからない
- ユニフォームの製造を行っていない
- その他 ()

2-1. 貴社では不要になった靴の回収をしていますか。

- はい
- いいえ

2-2. 2-1で「はい」と回答した方にお聞きします。年間当たりどのくらいの回収量ですか。足数か重量でお答えください。

足数	_____ 足 程度
重量	_____ kg 程度

2-3. 2-1で「はい」と回答した方にお聞きします。回収した後の処理方法を教えてください。※複数回答可

- ケミカルリサイクル
- マテリアルリサイクル
- サーマルリカバリー
- 廃棄、焼却している
- よくわからない
- その他（ ）

2-4. 2-1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。回収を実施していない理由を教えてください。※複数回答可

- 回収業務に割く人員が確保できない
- 回収後の処理方法がない
- 回収に対する費用対効果が見込めない
- よくわからない
- 靴の製造を行っていない
- その他（ ）

3-1. 1-1or 2-1で「はい」と回答した方にお聞きします。現在、リサイクルのコストはどこが負担していますか。※複数回答可

- 自社
- アパレルメーカー
- リサイクル事業者
- ユーザー（着用者・着用企業）
- わからない
- その他（ ）

3-2. 将来的にリサイクルのコストはどこが負担するべきとお考えですか ※複数回答可

- 自社
- アパレルメーカー

- リサイクル事業者
- ユーザー（着用者・着用企業）
- リサイクル工程に関わる全事業者
- わからない
- その他（ ）

4-1. 貴社の広域認定制度（※）の認定取得状況についてお聞かせください。

- 取得している
- 取得していない
- 取得を検討している
- わからない

※広域認定制度：環境大臣がその製品の製造・加工・販売に関わる事業者を廃棄物となったもの（製品端材等）の広域的な処理を行う者として認定し、廃棄物処理業に関する地方公共団体ごとの許可を不要とする特例制度

4-2. 4-1で「取得している」と回答した方にお聞きします。広域認定を業務の中で利用していますか。

- 利用している
- 利用していない

4-3. 4-2で「利用していない」と回答した方にお聞きします。その理由をお聞かせください。※複数回答可

- 回収の案件がない
- 現行制度が法的に自社ビジネスの実態に合致していない
- 手間が掛かる
- 商習慣上、回収物の処理費用が自社負担となる
- よくわからない
- その他（ ）

4-4. 4-1で「取得していない」と回答した方にお聞きします。その理由をお聞かせください。※複数回答可

- 取得するメリットを感じない
- 制度の概要を把握していない
- よくわからない
- その他（ ）

4-5. 回収について、国としての法整備や業界としてのサポートが必要であるとお考えですか

- 行政の法整備が必要
- 業界としてのサポートが必要
- どちらも必要でない（十分になされている）

5-1. 貴社のユニフォーム製造に関わる CO2 排出状況について、現状をお聞かせください

- 排出量の算出を行っている
- 排出量の算出を行っていない

5-2. 5-1 で「排出量の算出を行っている」と回答した方にお聞きします。年間当たりどのくらいの排出量ですか。

排出量	_____ kg 程度
-----	-------------

5-3. 貴社のユニフォーム製造に関わる CO2 排出量削減について、現状をお聞かせください

- CO2 削減目標を掲げ、取り組みを行っている
- CO2 削減目標を掲げていないが、削減に向けた取り組みを行っている
- 特になにも行っていない
- よくわからない
- その他（ ）

5-4. CO2 排出量削減の評価における第三者認証の必要性について、どのようにお考えですか。

- 必要性を感じている
- 必要性を感じていない
- よくわからない
- その他（ ）

6-1. 貴社の商品に採用されている環境配慮型素材を教えてください。 ※複数回答可

- リサイクル素材（※6）
- バイオマス由来素材（※7）
- 生分解性素材（※8）
- 反毛綿（※9）
- 反毛ウール（※10）
- その他（ ）

6-2. 貴社の商品に対して行っている、環境保護に関する取り組みを教えてください。 ※
複数回答可

- 環境配慮型の素材を使用した製品開発
- モノマテリアル（単一素材）化を目指した製品開発
- 耐久性を重視した製品開発
- 製造時の水使用量の削減
- 梱包材や資材類へのリサイクル素材の使用
- 梱包の簡素化
- 修理、リペアサービスの展開
- レンタルサービスの展開
- よくわからない
- その他（ ）

7. 貴社が考えるユニフォーム業界全体で行うべき環境保護、資源循環活動を教えてください。 ※3つまで回答可

- 製品単位で環境に配慮すればよい
- 不要になったユニフォームの回収は行うべき
- 回収から再製品化までのリサイクルスキームを構築するべき
- 国際認証を積極的に取得するべき
- 資源循環に対する理解度向上のための勉強会を積極的に実施するべき
- 従来通りで問題ない
- よくわからない
- その他（ ）

8. 現状よりユニフォームのリサイクルが普及していく為に必要と思われることを教えてください。 ※3つまで回答可

- ユーザーの理解度向上
- 販売者側の理解度向上
- リサイクルしやすい商品の普及
- リサイクルにかかるコストの低減
- 利用しやすいリサイクルサービスの普及
- 回収しやすい法令等の整備
- その他（ ）

9. 最後に、ユニフォームは産業廃棄物であるということをご存知でしたか

- もちろん知っている
- 何となく知っていた
- あまり知らない
- 全然知らなかった
- わからない
- その他 ()

※1 リユース：再使用、繰り返し使うこと。

※2 リサイクル：再資源化を行うこと。

※3 ケミカルリサイクル：回収製品を化学的に分解し、元の原料に戻して再利用するリサイクル手法

※4 マテリアルリサイクル：回収製品をその材料のまま利用するリサイクル手法（例：反毛してフェルトにする）

※5 サーマルリカバリー：廃棄物の焼却に伴い発生する熱エネルギーを再利用すること。

※6 リサイクル素材：リサイクル処理された後の素材（例：再生 PET を利用したポリエステル素材）

※7 バイオマス由来素材：バイオマス由来の素材（例：植物由来のバイオ PET を利用したポリエステル素材）

※8 生分解性素材：特定の条件下で自然界に存在する微生物の働きにより分解される素材（例：綿 100%素材）

※9 反毛綿：回収衣類や端材をほぐす反毛技術によって作られた綿

※10 反毛ウール：回収衣類や端材をほぐす反毛技術によって作られたウール